

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
1	自立式修景型枠PCaパネル工法	100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	プレキャストパネルを縦締め部材(PC鋼棒)により底盤と連結して自立させ、内部にコンクリートを打設することにより、一体化した鉛直壁、傾斜壁や柱状のコンクリート構造物を築造するもので、従来の型枠組立、解体作業が不要となり大幅な省力化が可能となる。
2	奥村式ダムコンクリート打設自動化システム	100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	ダムコンクリートの一連の打設作業、混練りからトランスファーカによる積み替え運搬、クレーンによる運搬・放出を自動化したもので、打設作業の効率化、安全性の向上を図る。
3	ダムコンクリート締固め判定システム	100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	ダムコンクリートの過度な締固めによる材料分離を防ぎ、品質向上を図る装置。コンクリートの締固め判定にパイプータ首を利用して締固め判定を行う。判定は音の変化パターンをニューラルネットワークで行う。
4	注入効果判定支援システム	100	(株)熊谷組	土木技術部 ダムグループ	03-3235-8649	グラウチング工事における膨大な注入データの解析、注入効果判定を行う
5	転圧機械運行管理システム	100	(株)熊谷組	土木技術部 ダムグループ	03-3235-8649	GPSを利用し、複数の転圧機械の運行を管理する
6	気化冷却法	100	(株)熊谷組	土木技術部 ダムグループ	03-3235-8649	骨材の表面水を気化させ骨材を冷却するブレーキング工法
7	上下流面清掃装置	100	(株)熊谷組	土木技術部 ダムグループ	03-3235-8649	コンクリートダムの上下流面の養生汚れ用の清掃機
8	ウォータージェットチップング装置	100	(株)熊谷組	土木技術部 ダムグループ	03-3235-8649	ウォータージェットを利用した堤内バイパス等の骨材をゆるめずにはつる。
9	ダム用コンクリート運搬設備「ライジングタワー」	100	清水建設(株)	土木事業本部技術第三部	03-5441-0565	ケーブルクレーンを用いず、ダム両岸の切取りが不要。環境への影響が少なく、経済的なコンクリート運搬設備
10	CSGミキサ	100	(株)竹中土木	技術本部	03-3542-6321	ダム本体や堤防等に使用するCSG材料を効率的に攪拌製造するミキサ。
11	SP-TOP工法	100	飛鳥建設(株)	土木技術部	03-5214-7086	急傾斜地でコンクリートや土砂を合理的に輸送する工法
12	NICEクリート工法を用いた堤体(ダム)コンクリートの冷却	100	(株)フジタ・NICEクリート工法協会	土木本部技術統括部	03-3796-2297	小規模ダムのコンクリート打設にレヂーミクスコンクリートを用いる場合が増えている。その暑中コンクリート対策として、トラックアジテータ車にて運搬されてきたコンクリートに対し、投入装置を用いて液体窒素を投入し、所定の温度まで冷却するNICEクリート工法と自動トランスファーカーを組み合わせたクーリングシステムです。
13	コンタクトクレイ吹き付け工法	100	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	従来人力施工されていたフィルダム岩着部のコンタクトクレイ材の施工を、品質・経済性・施工性向上に向けて開発した機械化吹付工法
14	ダム通廊・ゲート室のプレキャスト工法	100	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	コンクリートダムやロックフィルダムの通廊・ゲート室施工にプレキャスト部材を用い、現場打ちコンクリートと一体化し、安全施工・省力化・工期の短縮を図る
15	トグル制震構法	300	飛鳥建設(株)	耐震推進室	03-5214-7114	耐震補強工法

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
16	GAM工法	300	(株)福田組	環境エンジニアリング	03-3269-4716	現地で掘削した土を固化材を混ぜて専用プラントで泥土モルタルにした後、再び埋め戻して良質な基礎地盤に改良する工法
17	F-COW(エフカウ)工法	300	(株)福田組	技術部	025-227-3531	スリムな躯体で高い沈設精度を実現したニューマチックケーソン工法
18	CDM-Land4工法	300	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	CDM工法は、セメントスラリーなどの固化材と深層の軟弱土を混合処理機を用いて攪拌・混合し、現位置で地盤改良を行い工法です。通常2軸のCDM機を4軸同時に施工するため、作業効率が向上し、コストが縮減されます。
19	高流動コンクリート	300	(独)港湾空港研究所他	五洋建設(株)	03-3817-7570	締固めを必要とせず信頼性の高い品質となるコンクリートで、十分な締固めが行えにくい過密配筋部材や密閉状態に近い条件の部材でも流し込みだけで十分な充填性と強度発現性、耐久性が得られる
20	RCCカルバート工法	400	アイサワ工業(株)	技術研究所	086-944-1103	高盛土部における超硬練り転圧コンクリートによる経済的アーチカルバート施工法
21	DSR工法	400	(株)新井組	環境・技術営業部	03-3442 6681	シールド掘進機の内胴部(駆動部)をリサイクルする工法
22	T.B.Kシステム	400	(株)新井組	環境・技術営業部	03-3442 6681	従来の泥濃式推進工法では困難な超長距離推進を可能とする工法
23	K-1推進工法	400	(株)新井組	環境・技術営業部	03-3442 6681	従来の泥濃式推進工法で困難な土質を推進する工法
24	プレキャストトンネル押出し工法	400	安藤建設(株) ジオスター	安藤建設(株) 土木事業部 工事情報管理G	03-3457-9636	トンネル坑口において、ベアリングを敷き詰めたレール上にプレキャストアーチ版を設置し、推進ジャッキにてトンネル坑内に次々と押出して覆工とする工法。主にトンネル拡幅やトンネルリニューアル工事に有効。
25	管渠拡大更新工法 <PERS工法>	400	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	老朽管渠を供用しながら拡大更新する推進工法
26	既設トンネル調査・診断システム	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	既設トンネルの改修・改築の施工にあたって、トンネルの覆工や岩盤の状態を精度よく調査・診断する総合システムである。的確な施工計画に必要な覆工およびその背面の状況、地山特性などの情報を提供する。
27	奥村式改良オープン型TBM	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	硬岩からグリッパーの反力がない不良地山まで、幅広い地質に対応可能なTBM。崩落性の地山では、ルーフサポート内で支保工の組立が可能であり、グリッパーの効かない場合は支保工に反力を取って補助推進ジャッキで推進する。また自動掘削システムを搭載することにより、幅広い地山性状に合った効率的掘進を行う。
28	斜坑TBM工法(パイロット・リーミング方式)	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	40~50度以上の傾斜がある斜坑の施工において、安全性の向上、施工の合理化に効果のある工法。斜坑導坑の施工をパイロットTBMで施工し、斜坑の切掘げ掘削をリーミングTBMにより上から下に向かって行う。地山条件の良い場合は、全断面TBMで切上がる。
29	立坑TBM工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	TBMを用いて鉛直下向きに全断面掘削を行うもので、掘削と並行して覆工を行うことにより大深度立坑を急速で施工する。施工は下向きカッターヘッドに装備したディスクカッターで岩盤を破碎し、混気ジェットポンプで吸引、カプセル輸送等の設備で坑外へ搬送する。掘削と覆工の並行作業が可能となるため、工期短縮と工事費の低減が可能。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
30	既設トンネル改修用TBM工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	老朽化した長大水路トンネルの更新にあたって、トンネルの拡幅、改修を安全かつ急速に施工するためのTBM工法。掘削ズリの前出し、後ろ出しや全断面掘削もできるなど、改修トンネルのような条件に対し柔軟に対応できる。
31	TBMロックライナー工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	リング支保とセグメントの長所を結合したもので、リング支保間に溶接金網を取り付けた構造で、軽量・安価で組立が容易。TBMのサポート内で、ロックライナーをエレクターで組立。サポートより出ると同時に油圧ジャッキで拡張し、地山に密着。崩落性の地山でも、ゆるみを進行させず安全・効率的に掘進できる。
32	SD工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	スロットドリルによりトンネル外周に溝を設け、掘削による振動や騒音の伝播を大幅に低減する工法で、爆薬を使わない無発破工法と、発破を併用して低振動で掘削できる発破併用SD工法とがある。
33	SD・EDD発破工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	SD工法と電子式遅延雷管の双方の特徴を利用して、発破時の振動・騒音を大幅に低減する工法。市街地や既設構造物に近接した山岳トンネル工事において低振動・低騒音で効率よい発破掘削が可能。
34	スロットスター(小型・軽量スロット削孔機)	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	岩盤やコンクリートに溝を掘るためのスロット削孔機で、小型、軽量、高効率を特長とする2連式ドリル。様々なベースマシーンに搭載が可能であり、小断面トンネル、比較的小規模なSD工事に適用できる。
35	高強度吹付けコンクリート	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	NATMの、大断面トンネル、シングル・シェル・ライニング構造のトンネルあるいは地山不良部等で適用できる高強度の吹付けコンクリート。標準タイプ、緊急タイプ、高強度タイプ、低粉塵タイプの4タイプがある。
36	いつでもショット工法(遅延コンクリートを用いたトンネル吹付け工法)	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	ミキサー車に開発した凝結遅延剤を混入するだけで、任意の時間に吹付けが可能。延長の短いトンネルや夜間の運搬ができないトンネルへ適用。
37	MS先受け工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	切羽崩落等の危険性のある脆弱地山を鋼管の軸方向剛性と注入材による改良効果により切羽前方地山を補強するフォアパイリング工法。小径(76.3mm)の市販鋼管を使用し、施工効率の向上、削孔タイムの短縮、材料費の低減が図れる。また、掘削断面の拡幅も不要でコストダウンが図れる。
38	クリンジェット(トンネル用電気集塵機)	400	(株)奥村組・エムシーエム 松下エコシステム(株)	技術本部	03-5427-2316	粉塵や煤煙を集塵機内部で帯電させ、集塵極板に付着させることにより集塵する。7~10μm以下の浮遊粉塵に対し高い集塵効果が得られる。軽量コンパクトで、2000m <sup>3</sup> /min機を4トナに搭載可能。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
39	ハニカムセグメント	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	六角形状のセグメントで、1ピース2本の軸方向挿入ボルトで組み立てられる。覆工内面に継ぎ手金物の露出が無く平滑なため、二次覆工の省略に適している。全ピース同一形状で、1リングは偶数個のピースで構成され、組立は全て軸方向挿入で行う。組み立てたピースは3面が固定されるため直ちにジャッキ載荷が可能であり、シールド掘進とセグメント組立の同時施工に有利である。
40	内水圧対抗型ハニカムセグメント	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	地下河川や導水路トンネル等の内水圧が作用するトンネルに対して、所定の強度を備え、急速施工やコストダウンが可能な嵌合継手方式を持つセグメントで、一次覆工のみで対応可能。従来の二次覆工を行う工法に比べ、トンネル断面が縮小となり、コストダウンが可能。
41	ハニカムセグメントを用いた同時施工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	ハニカムセグメントを用いて、掘進とセグメント組立を同時に行い、掘進サイクルの短縮を図る工法。エレクタの掘進同調制御とボルト締結を自動化した方式。長距離シールドトンネルの急速施工法。
42	ポリリング工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	ポリエチレン製の帯状覆工材をシールドトンネル内でリング状に成形連結して管路を築造する鋼製セグメント用の二次覆工工法。二次覆工は、ポリエチレン性の覆工材とセメント系の中詰め材とからなる。本工法により二次覆工厚さが薄くなりトンネル断面の縮小が可能となる。
43	ラッピング工法	400	(株)奥村組・大成建設・五洋建設・日立建機・石川島	技術本部	03-5427-2316	セグメントの外周を止水性と耐久性に優れた防水シートで覆う工法。防水シートでトンネルを覆うことにより、大深度化するシールドトンネルの「高水圧」に対応でき、また、海底部や湾岸部等、塩害の予測される地域でのセグメントの劣化を抑制する。
44	大深度流入、分岐立坑築造工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	回収型縦型掘進機により大深度の流入、分岐立坑等を築造する工法で、都市部の大深度化したシールドトンネルに接続する立坑を、障害物を避けて築造できる。掘進完了後、カッタ板およびスキンプレート以外は容易に回収・転用でき、コストダウンを図れる。
45	ビットライズシールド機	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	ビットに内蔵した摩耗検知装置からの情報に応じ、内蔵したジャッキで特殊ビットをせり上げることにより、従来の数倍の長距離施工を可能とするシールド機。ビット交換費の大幅な低減と工期短縮が可能となる。
46	スーパーミニ工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	小口径管を泥水式推進工法の二工程方式で、ワンマンコントロール方式により集中管理室において遠隔操作で施工する。広範囲な土質に適用が可能で、標準のスーパーミニ工法のほか、スーパーミニ・エース工法、スーパーミニ・ロック工法、スーパーミニ・ダクタイル管推進工法、スーパーミニ・カーブ工法がある。
47	スーパーミニ・カーブ工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	スーパーミニ工法の曲線対応工法。鉄筋コンクリート管 400～500mm、曲線半径100m以上、土被り5m程度に適用可能。水平位置測量は光ファイバージャイロと磁力線位置検出装置を使用。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
48	スーパーエル工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	滑材を二層に注入することによって滑材の効果が長期間発揮できるようにした長距離推進工法で、従来の泥水式推進工法や、土圧式推進工法等の長距離施工が可能になる。推進管の外周に固結する一次滑材を注入し、その内側に液状の二次滑材を注入する。二次滑材は地山に浸透することなく安定した滑材効果が発揮でき、推進抵抗力が大幅に低減される。
49	管被膜推進工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	推進管とその外周面を覆う膜材との間に滑材を注入し、土圧・水圧より高い圧力を保持することによって、推進管と膜材のクリアランスを確保しながら推進する一工程方式の工法。滑材の逸散や劣化がなく推進抵抗を小さくできるため長距離推進が可能。
50	回収型掘進機(やどかり君)	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	掘進機の駆動部分や推進部分の機械を内殻、スライド部分を外殻に分割し、分離可能な二重構造とすることで、掘進機内部の機械・装置を回収し、リサイクルできる。外殻は折れ曲がり構造で曲率に応じて屈曲でき、内殻側の機械・装置も追従して作動するので、曲線施工にも対応できる。
51	アール・アンド・シー(R&C)工法	400	(株)奥村組(建設省土木研究所・(財)土木研究センター及び民間11社の共同開発)	技術本部	03-5427-2316	走行する列車や車の流れを阻害しない非開削の路線下横断構造物施工法。矩形断面のパイプルーフで軌道荷重や道路荷重を受けた後、箱形ルーフを押し抜きながら函体を推進(又は牽引)する。箱形ルーフの押し抜きとフリクションカット用の鋼板の効果により函体の土被りを浅くすることが可能。
52	ハ - フ P C a ア - チカルバート工法	400	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	アーチカルバートを急速に構築可能な施工法。アーチカルバートの内空に P c a 型枠を、外側に移動型枠を用いて、現場打ちコンクリートを打設。P c a 型枠と一体化しアーチカルバートを構築する。部材を 3 t 以内としており、狭隘な場所での施工が可能。P c a 型枠が組み上がればトンネル内の通行が可能となる。
53	ミニシールド工法	400	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	仕上り内径 900 ~ 2000mm の二次覆工省略シールド工法
54	マイクロ工法・スーパーマイクロ工法	400	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	400 ~ 600mm 対象の二工程方式(マイクロ)・一工程方式(スーパー-マイクロ)長距離推進工法。
55	PSS-Arch工法	400	(株)熊谷組	トンネル技術部 トンネルグループ	03-3235-8649	先行アーチ支保による地山補強工法で、めがねトンネルの中央導坑から先行して曲がりボーリングにより本坑のアーチ支保工を地中に構築する。
56	次世代のトンネル技術「KM21TM」	400	(株)熊谷組	トンネル技術部 トンネルグループ	03-3235-8649	大深度、大土被りにおける土砂地山から硬岩までのトンネル施工の幹線機械化を目的とし、1台の機械で、あらゆる地山条件の変化に対して常に最適な掘削機構と支保で施工できる21世紀の新しいトンネル工法。
57	長尺切羽補強工法	400	(株)熊谷組	トンネル技術部 トンネルグループ	03-3235-8649	トンネル切羽前方地山に、二重管せん孔方式による長尺のGFRP管と注入材による地山改良体を形成することで、トンネル掘削の影響による先行ゆるみの発生を積極的に抑えトンネルの安定を図る地山補強工法。
58	トンネル拡幅工法	400	(株)熊谷組	トンネル技術部 トンネルグループ	03-3235-8649	2形式のプロテクター(ガントリータイプとステージタイプ)により機械掘削併用の発破工法により土砂地山から硬岩までのあらゆる地質条件の長大トンネルを通行止めすることなく活線拡幅する工法。
59	エコシールド工法	400	(株)熊谷組	トンネル技術部 トンネルグループ	03-3235-8649	硬質地盤で添加材を使わずに掘削し、土砂を一般残土として排出する。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
60	K - 1 推進工法	400	(株)鴻池組	大阪本店土木設計部	06-6244-3671	面盤型カッターヘッドを搭載し、巨礫・玉石層にも対応可能な泥濃式推進工法。推力低減システムの併用により長距離施工にも対応可能。
61	合成セグメント/ITジョイント	400	(株)鴻池組	大阪本店土木設計部	06-6244-3671	鋼殻とコンクリートを一体化させた合成セグメントと完全内面平滑となるワンタッチ挿入型の継手の組合せにより、二次覆工省略かつ内水圧対応型の大深度・大口徑シールドに対応可能。
62	コーンコネクタセグメント	400	(株)鴻池組	大阪本店土木設計部	06-6244-3671	完全内面平滑となるワンタッチ挿入型の継手の組合せにより、二次覆工省略型シールドの急速施工が可能。
63	シールド高速施工技術「F-NAVIシールド」	400	清水建設(株)	土木事業本部技術第四部	03-5441-0555	シールド機前胴部の首振り機構により方向制御できるため、掘進とセグメント組立が同時に施工することによる高速施工を実現
64	トンネル背面空洞調査システム(PVMシステム)	400	清水建設(株)	土木事業本部技術開発部	03-5441-0518	高速度で覆工および背面地山を削孔することで、高精度に覆工背面の状況(覆工厚、空洞の大きさ等)を調査できるシステム
65	トンネル背面空洞充填工法(アクアグラウト工法)	400	清水建設(株)	土木事業本部技術第一部	03-5441-0186	地下水による材料分離がなく、地山や覆工の亀裂に逸脱しない充填材によるトンネル背面空洞への充填工法
66	レンジコンクリート製高耐久パネル(ASフォーム工法)	400	清水建設(株)	土木事業本部技術第一部	03-5441-0186	ビニルエステル樹脂コンクリートと立体金網や種石で構成された高耐久性プレキャストパネルで、埋設型枠や補修パネルとして使用
67	断面拡張・縮小シールド(ES-Tube工法)	400	清水建設(株)	土木事業本部技術開発部	03-5441-0518	シールド機の掘削断面を自在に拡大・縮小が可能。地中送電線、ガス導管
68	Eco-ケーソン工法	400	(株)白石	技術営業企画部	03-3253-9120	開削でトンネル施工時、土留め壁が施工されるが、地下水の状態と開削時の盤ぶくれ対策で、非常水層まで土留め壁を貫入させる。この時、地下水が遮断され、地下水流の流れによってダムアップダウン現象が起これ、周辺地盤の沈下・隆起や井戸枯れの問題が生じる。地下トンネルの築造にニューマッチケーソン工法を適用することにより、地下水を遮断することなくトンネルを築造することができる。
69	4分割セグメント 2次覆工省略型シールド	400	西武建設(株)		042-926-3414	4分割セグメントによって2次覆工の省略を可能にしたシールドトンネル工法
70	SEWシールド直接発進到達工法	400	(株)銭高組	技術本部	03-5323-3861	シールド機が通過する部分に、切削可能なFFU部材を組み込んだ新しい土留め・発進・到達工法
71	ZAOS - phm盤ぶくれ防止工法	400	(株)銭高組	技術本部	03-5323-3861	ジェットグラウトとアンカーを組合せ、土留め掘削時の盤ぶくれを安全・確実に防止する工法
72	泥土加圧シールド工法	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	泥土による切羽安定機構をもつシールド工法で、土質に対する広い適応性や地盤の変状を最小限に抑えるなどの特徴があります。
73	DOT工法	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	複円形断面の泥土圧シールド工法。占有面積を小さくでき、トータルコストを低減できます。また、切羽が同一平面であるため姿勢制御が容易です。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
74	D P L E Xシールド工法	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	平行リンク運動するカッターを有する任意断面のシールド工法。任意断面が選定できるので目的にあった合理的な断面とすることができる。掘削トルクが小さく駆動部をコンパクトにユニット化できる。ビットの磨耗が少なく従来の3倍程度の長距離掘進が可能。
75	J - D P L E Xシールド工法	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	ジャッキによるカッター駆動を行うD P L E Xシールド工法。転用性の向上、機長の短縮などで工事の全体コストを縮減できる。機内注入機構やマンホールの設置が容易。
76	泥土加圧推進工法	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	泥土による切羽安定機構をもつ推進工法。土質に対する広い適応性、地盤の変状を最小限に抑える、プラント用地が手掘り推進と同程度などの特徴があります。
77	D P L E X推進工法	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	平行リンク運動するカッターを有する任意断面の推進工法。転用可能なベースマシンにアタッチメントを取り付けることで任意断面の推進が可能。
78	円弧状矩形セグメント	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	矩形断面のセグメントにおいて上下の辺などを円弧状とすることによりセグメント厚を薄くできるセグメント。断面が小さくなり、経済性に優れている。
79	じおくらいまー	400	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	急勾配のトンネル工事における土砂、資機材の搬送システム。
80	H E P & J E S工法	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	路線下の横断トンネルを非開削で速く、精度よく安全に施工する工法であり、到達側からP C鋼線を使ってけん引によりエレメントを埋設するH E P工法と、埋設したエレメントを本体構造物とするJ E S工法の複合工法である。
81	タフシート工法	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	タフシートは紫外線を照射することにより硬化するFR Pシートであり、既設トンネルの内面に貼付けて遮水性・耐薬品性に優れた防食被覆層を形成することによりコンクリート表面の剥落防止とする補修工法である。
82	R E D E E M工法	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	既設トンネルの内面に、じん性に優れたセメント系繊維補強モルタル版を形成して覆工を補強する工法であり、覆工表面にマット状のP V A (ポリビニールアルコール) 繊維を取付けた後、型枠用のP V A繊維補強ボードをアンカーで固定して、マット部分にモルタルを順次に浸透・充填する工法である。
83	T U L I P工法	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	曲線ボーリング装置を用いて地中に曲線管を埋設する技術であり、埋設した曲線管を本管利用する他、地盤改良工の凍結管あるいは注入管として利用することにより、トンネルの地中接合や拡幅・分岐・合流部施工、さらに扁平大断面の施工を可能とする工法である。
84	T S L - C工法	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	凝結開始時間の調節が可能な急硬性高流動コンクリートをセントル型枠内に打設して、高強度・高品質の薄肉覆工を短時間で形成するトンネル急速覆工工法であり、既設トンネルの内面に薄肉の内巻きコンクリートを迅速に形成して覆工を補強する工法である。
85	コンクリートはつりロボット	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	本体の位置決めや切削等の作業をマイクロコンピュータによる自動制御としたドラムカッタ切削タイプの覆工コンクリートのはつりロボットであり、トンネル補修工事における既設覆工コンクリートのはつり作業を速く正確に効率良く施工する工法である。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
86	CIC工法	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	老朽化した水路トンネルのインバート面を迅速にリフォームする工法であり、本体の位置決めや切削等の作業をマイクロコンピュータによる自動制御としたインバート切削ロボットによって速く正確に行った後、インバートフィニッシュでコンクリートを打設・整形する工法である。
87	水平長尺コントロールボーリング	400	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	三次元座標計測システムにより、リアルタイムにボーリング孔先端の位置を把握して方向制御を行いながら、追従式のケーシングにより孔壁を保護して精度良く長距離ボーリングを施工する工法である。
88	トレール工法	400	飛鳥建設(株)	土木技術部	03-5214-7086	スライド式カッタービット交換システム
89	EW工法	400	飛鳥建設(株)	土木技術部	03-5214-7086	直接発進・到達を可能にした杭芯材劣化技術
90	活線拡幅工法	400	飛鳥建設(株)	土木技術部	03-5214-7086	既設トンネルを通行止めをすることなく拡幅する工法
91	無発破岩盤掘削	400	日本国土開発(株)	施工本部	03-5410-5772	大型機械式クサビで割岩する工法。KNBB工法と呼ぶ。
92	プレストレスセグメント	400	日本国土開発(株)	施工本部	03-5410-5772	P&PCと呼ばれている。プレストレス導入セグメントは薄肉となるため、掘削断面が小さくなり、経済的にシールドトンネルを施工できる。
93	ハイブリッド(PRS)工法	400	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進部	03-4562-3070	老朽化した中・小口径下水道管渠を非開削で同位置に更新管を埋設する工法。
94	管周混合推進工法	400	(株)福田組	技術部	025-227-3531	地山と管との間に滑材混合層を形成して摩擦抵抗力の低減を図ることで長距離推進を可能とした工法
95	管周固化推進工法	400	(株)福田組	技術部	025-227-3531	掘進機の後ろから薬液を注入して地盤を固化した後固化した地盤と管との間に滑材を注入して管の周面抵抗力を極力減少させた工法
96	デュアルシールド工法	400	(株)福田組	技術部	025-227-3531	推進工法とシールド工法との両方の特徴を兼ね備えた経済的な管の築造工法
97	PCL工法(専用運搬台車を使用)	400	(株)福田組	技術部	025-227-3531	交通を遮断することなく専用の台車でPCL版で老朽化したトンネルの覆工を行う工法
98	P & PCセグメント工法	400	三井住友建設(株)	P & PC室	03-5337-2139	プレストレスを与えてセグメントピースを一体化させる、経済性に優れたシールドトンネル用セグメント工法です。二次覆工も省略可能
99	JUC工法	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	立坑なしでシールドトンネルの任意位置で分岐・接合を施工する工法です。施工に伴う周辺環境への影響を大幅に軽減し、従来の工法に比べ、工期の短縮、工費縮減が図れます。
100	バックフィルシールド工法	400	三井住友建設(株)	機電部	03-5337-2137	バックフィルシールド機を用いて既設管路の外周地盤を掘進しながら、順次既設管路の撤去と埋め戻しを行う工法です。非開削により、既設トンネルを撤去して、周囲と同等の地盤状態に復帰することができます。
101	リングロックセグメント	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	トンネル外部の土水圧だけでなく、内水圧にも一次覆工単独で対応可能なボルトレスタイプのセグメントです。トンネルの使用目的により、二次覆工の省略が可能となります。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
102	NOMST	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	新素材コンクリートを用いて、シールドのカッタービットで切削できる立坑の土留壁材です。NOMSTでは、地盤改良を削減または不要にでき、発進、到達の自動化、省力化を図ることができます。
103	二次覆工吹付けライニング	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	シールドトンネルの急曲線部や開口補強部等のスチールセグメント区間を吹付けて二次覆工する施工法です。吹付け工法のため、施工設備が簡易で、断面形状や補強材に左右されることなく施工が行えます。
104	拡大シールド工法	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	地上に影響を与えることなく、トンネル内部から目的に応じて拡大空間を建設する工法です。
105	Reキューブモール	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	開削することなく、既設管路を撤去することのできる工法で、豊富なバリエーションにより、多種多様な施工環境に対応可能です。
106	CD - NATM	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	中壁を用いたNATMで、土被りの薄い未固結地山のトンネル掘削において、地表面沈下を大幅に抑制することができます。
107	ダストレスショットクリート工法	400	三井住友建設(株)	技術研究所	04-7140-5220	回転円盤の遠心力で吹付け材料を壁面に投射する工法です。圧縮空気を使用しないので、粉じん発生量が極端に少なく作業環境が良好です。
108	機械量検層によるトンネル切羽前方探査システム	400	三井住友建設(株)	技術研究所	04-7140-5220	ボーリングマシン等の専用機械を持ち込まないで、簡便に切羽前方の地質状況の予測ができるシステムです。従来から行われてきたさぐり削孔を定量的、客観的データとして表現し、工程管理や安全管理に活用できます。
109	FRPケーブルボルト	400	三井住友建設(株)	技術研究所	04-7140-5220	炭素繊維やガラス繊維を組紐状に編み、樹脂で含浸させたケーブルボルトです、コイル状に巻けるため、狭い空間から長尺の施工が可能です。FRP製であるため、切削しやすく機械掘削が容易です。
110	GSA・フィブラケーブルボルトシステム	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	オーストリアから導入したGSAという削孔システムと中空式のFRPケーブルボルトを組み合わせた長尺フェースボルト工で、不良地山への対応が可能です。通常の削孔ジャンボで施工が可能で、コストダウンが図れます。
111	ロックボルト長検査システム	400	三井住友建設(株)	技術研究所	04-7140-5220	トンネルの支保工に用いるロックボルトの長さを判定する非破壊検査システムです。セメントモルタルなどのグラウトの充填状況も評価できる特徴があります。
112	真空透気試験法	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	ボーリング孔にバッカーで閉塞された試験区間を設け、この区間の空気を真空ポンプにより排除することにより、岩盤の透気係数を求める試験です。透気係数の分布から、掘削後の周辺地山のゆるみ領域を精度よく測定できます。
113	多段階三軸圧縮試験による岩盤評価技術	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	最大封圧100MPの高性能試験機により、地下3000m以上の深部を模擬することができ、熱-水-応力連成試験などの複合試験による岩盤評価を行うことが可能です。
114	大断面立坑設備	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	立坑の仕上がり径が7.5m以上の大断面立坑の掘削を対象として開発したもので、従来のシャフトジャンボを小型化して、坑内機器の操作性を向上させた、小型で効率のよい立坑坑外設備です。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
115	PCシャフト工法	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	プレキャストセグメントを用いた立坑の急速構築工法です。プレキャストセグメントを地上で組み立て、円周方向にプレストレスを与えて一体化し、所定の深さまで沈設して、立坑を構築します。
116	遠心力吹付け工法	400	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	深礎基礎等の円形立坑の土留工を遠心力を用いたモルタル吹付け方式で行う方法で、粉じんの発生が極めて少なく、作業環境が改善されます。従来のライナープレートを用いた土留工に比べて、経済的に優れます。
117	トンネル拡幅工法	400	小田急建設(株)	小田急建設技術開発部	045-323-3974	別添一覧表参照
118	新オープンシールド	400	(株)ピーエス三菱	土木本部 土木部	03-4562-3042	開削工法とシールド工法の長所を活かし、函渠を様々な条件下で布設施工できる。
119	スーパ-マイクロ工法	400	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進部	03-4562-3070	泥水一工程方式採用により、低コスト化した小口径長距離曲線推進工法。
120	シールドの2次覆工省略セグメント(スライドカッターセグメント)	400	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	シールド工事の合理化やコスト縮減に関連した技術で、軸方向挿入型のコッター継手とワンタッチ式のクイックジョイントを用いることにより高速施工を可能とし、内面の平滑性化による二次覆工省略が図れる
121	無拡幅型注入式フォアパイリング(AGF-S)	400	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	低土被りや滑り地山のトンネル工事で採用される注入先受け補助工法AGFを改良し、掘削断面の拡幅を最小もしくは不要としてコストダウンを図った工法
122	ラッピング工法	400	ラッピング工法研究会	五洋建設(株)	0287-39-2115	止水性と耐久性に優れた防水シート(以下、シート)でセグメントの外周を覆う工法である。
123	上向きシールド工法	400	大成建設・五洋建設・IHI他	五洋建設(株)	0287-39-2115	地下から地上へ向けての掘削を可能にしたことで、地上での工事期間が短くできるほか、列車の線路間、ビル街や繁華街、狭隘な場所など、地上から立坑を作ることが困難な場所でのスムーズな作業を可能とする技術である。
124	シャ-ケット工法	400	五洋建設(株)、日本鋼管(株)	五洋建設(株)	0287-39-2109	交換用カッタービットを挿入ボックスから一個づつカッタースポークに挿入することにより、摩耗した外周側のカッタービットを外側に押し出すという簡便な機構で何回でもカッタービットの交換ができる工法である。
125	リングシールド工法	400	五洋建設(株)、(株)銭高組他	五洋建設(株)	03-3817-7570	トンネルの外殻部をリング状のシールドで先行掘削して覆工体を構築し、その後地山を掘削してトンネルを完成させる。覆工体としては地山の状況に応じて、合成セグメント、RCセグメントおよび新規に開発したFFC(袋詰めコンクリート)覆工が選択出来る。
126	シールド全自動管理システム(Total-TADS)	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	シールド工事の全ての作業を一元化できるシステム
127	トンネル覆工背面調査装置	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	トンネルの覆工厚及び覆工背面の空洞の測定装置

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
128	自由断面トンネル掘進機 過掘り防止装置(APEXS)	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	自由断面トンネル掘進機カッター位置制御
129	New PLS工法	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	剛性の高いコンクリートシェルによるトンネル先受け支保工法
130	異形断面シールド工法	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	矩形・楕円形・馬蹄形等、様々な断面を建設できるシールド工法
131	リングシールド工法用合成セグメント	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	トンネル外郭部をシールドマシンで掘削するリングシールド工法用の覆工材セグメント
132	リングシールド工法	400	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	リング状の1台のシールドを用いた外殻先行シールド工法
133	中大口径管渠更生工法 「バルテム・フロ-リング工法」	400	(株)松村組	土木本部土木技術部	06-6354-8820	更生管の強度設計ができ、円形、矩形、馬蹄形などあらゆる断面形状の施工を可能にした。
134	小口径長距離曲線推進工法 「マイクロ工法」	400	(株)松村組	土木本部土木技術部	06-6354-8820	泥水方式二工程式推進工法：呼び径250～500mmの推進管で長距離400m、急曲線30mRの施工を可能にした。
135	小口径長距離曲線推進工法 「ス-パ-マイクロ工法」	400	(株)松村組	土木本部土木技術部	06-6354-8820	泥水方式一工程式推進工法：呼び径400～600mmの推進管で長距離300m、急曲線60mRの施工を可能にした。
136	竹割り型構造物掘削工法	500	アイサワ工業(株)	技術研究所	086-944-1103	リングビーム・逆巻壁・ロックボルトを用いて急斜面上に橋梁下部工等の構造物を建設する場合の構造物掘削工法
137	大深度ニューマチックケーソン 無人化工法 <ROVOケーソン工法>	500	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	大深度のニューマチックケーソン工法における沈下掘削作業と土砂搬出作業の無人化・自動化技術

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
138	プレハブ・複合部材を用いた橋梁下部工の施工法(3H工法)	500	(株)奥村組(建設省土木研究所・(財)先端建設技術センター・及び民間11社の共同開発)	技術本部	03-5427-2316	高橋脚築造技術で耐震性の向上、施工の効率化、経済性の向上等を目的にした独立法人土木研究所等との共同研究施工法。主鉄筋の一部の鋼材への置き換え、プレキャスト型枠、大型昇降式型枠の採用等からなる。プレキャスト型枠には帯鉄筋を埋め込んでおり、鋼材、軸方向鉄筋等からなるスパイラルコラムを一体で建て込み、内部コンクリートを充填。
139	スパイラル筋巻立RC柱耐震補強工法	500	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	既設鉄筋コンクリートの柱の耐震補強工法。高強度スパイラル筋をひねりを加えながら既設柱の外周に巻き付ける。その上にモルタルを吹き付けこてで仕上げる工法。従来工法に比較して安価で、施工性の良い技術。
140	APAT(エーパット)工法(外部スパイラル鋼線巻立耐震補強工法)	500	(株)奥村組(JR西日本・JR西日本コンサルタンツ(株)との共同開発)	技術本部	03-5427-2316	プレキャストコンクリートブロックとスパイラル状に加工した亜鉛メッキ鋼より線を用いた安価で施工性の良い補強工法で、損傷判定が目視検査で対応可能。分割したPCブロックを柱に取り付け、鋼より線を巻きつけることで、柱の曲げ耐力を増加させることなく、曲げじん性・せん断耐力を向上させる。
141	延長床版プレコンボ工法	500	(株)ガイアートクマガイ	新事業推進室	03-5261-9212	本技術は橋梁部と土工部をつなぐ伸縮継手(フィンガージョイント等)を土工部に移設し、橋梁床版を延長させることにより、伸縮継手部で発生していた交通車両による騒音・振動を抑える工法である。また、伸縮継手を移設することにより、橋梁の支承の塩害対策にもなる。
142	発泡スチロール型枠工法	500	(株)鴻池組	土木本部エンジニアリング部	06-6244-3619	中空構造の高橋脚において、中空部に発泡スチロールを足場兼用型枠として使用することにより、コスト縮減、工期短縮、安全性向上を図ることができる。
143	プレストレストコンクリート橋架設工法(P&Z工法)	500	清水建設(株)	土木事業本部設計部	03-5441-0596	橋梁上部工に設けた移動架設術で橋脚の両側に順次張り出しながら上部工を分割構築するプレストレストコンクリート橋の架設工法
144	かみ合わせ継手による鋼板巻立て補強工法	500	清水建設(株)	土木事業本部技術第一部	03-5441-0186	機械式のかみ合わせ継手を用いた鋼板巻き立てによる橋脚・柱の耐震補強工法。溶接が不要で、天候に左右されず、水中施工が容易
145	緩衝材使用炭素繊維シートによる補強工法(Hiper-CF工法)	500	清水建設(株)	土木事業本部技術第一部	03-5441-0186	構造物と炭素繊維シートの間柔軟性の緩衝材を設置してシートの剥離を防いだコンクリート構造物の補強工法
146	SH-SHINSO工法	500	(株)白石	技術営業企画部	03-3253-9120	従来深礎の施工は、人力で行われている。狭い空間で掘削排土作業等が行われるため安全性が懸念されている。SH-SHINSO工法は、掘削・土留め・杭構築までをすべて地上および地上遠隔で行い深礎孔内作業を無人で行うことのできる工法である。掘削は地上遠隔で行う。適用範囲は、杭径2.5m～3.0mで深さの制限はない。また対応地盤は土砂～硬岩まで施工可能である。
147	アンブレフォーム工法	500	(株)白石	技術営業企画部	03-3253-9120	深礎杭では土留めにライナープレートが使用されてきた。しかし、裏込め材の不充填等施工上の問題から、設計時に杭周面の摩擦力を考慮していなかった。近年深礎杭の耐震性能向上を目的に杭周面摩擦力を期待するために土留めにモルタルライニングを採用している。アンブレフォーム工法は、モルタルライニング施工時の円形型枠を地上から簡易に設置できる工法である。適用範囲は、杭径2.5～3.5mまで0.5m単位である。
148	ロボバック工法	500	(株)白石	技術営業企画部	03-3253-9120	深礎杭の施工を急斜面地で行う場合、大型の重機が搬入不可のため小型のバックホーを用いて掘削を行う。これらの作業は、オペレータが深礎孔内で掘削機を運転するため、排土時の安全性が懸念される。ロボバック工法は、深礎孔内で使用される小型バックホーを地上から遠隔操作し、孔内の無人化を図った工法である。掘削機にはアタッチメントで削岩機が使用できるため、硬岩の掘削にも対応できる。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
149	軌道支持桁式鉄道高架橋	500	西武建設(株)		042-926-3414	耐震性向上をめざした軽量桁
150	ダクトル	500	大成建設(株)	土木技術部	03-5381-5281	超高強度繊維補強コンクリート
151	New DREAM工法	500	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	高気圧作業の完全無人化を目指したニューマチックケーソン工法で、コストの縮減、工程の短縮、安全性の向上と作業環境の改善を実現。
152	DREAM工法	500	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	地上からの遠隔操作によるニューマチックケーソン用無人掘削機。高精度の掘削管理、接触防止システムによる安全性の向上、普通土から岩盤まで掘削可能、高い掘削能率による工程の短縮が可能。
153	BADR床版工法	500	飛鳥建設(株)	土木設計部	03-5214-7092	ハーフプレキャスト部材を用いた床版工法
154	In-Cap工法	500	不動建設(株)	土木事業本部技術部	03 3837 6002	既設橋脚の耐震補強技術
155	SUPER工法	500	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	あらかじめ帯鉄筋を埋め込んだプレキャストパネルで橋脚表面を形成し、内部にコンクリートを打ち込んで、合成構造の橋脚を急速施工する工法です。高橋脚ばかりでなく低橋脚にも適用できます。
156	ML工法	500	三井住友建設(株)	土木設計第二部	03-5337-2136	外面リブ付鋼管を橋脚断面内部に補強鋼材として用い、耐震性に優れたコンクリート合成構造橋脚を構築する工法です。橋脚の施工を大幅に省力化し、作業環境の向上と急速施工を図るとともに、コストの縮減も可能です。
157	高流動コンクリート	500	三井住友建設(株)	技術研究所	04-7140-5220	締固め不要で高品質な自己充填型のコンクリートです。自己充填性に加え、高強度と高耐久性といった優れた性能も兼ね備えています。
158	ドライミックス方式ブレーキング工法	500	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	冷却媒体として、ドライアイスを用いて冷却コンクリートを製造する工法です。高品質で、耐久性に富み、ひびわれのないコンクリート構造物を構築できます。
159	FRP型枠	500	三井住友建設(株)	土木設計第一部	03-5337-2135	軽量で強く、取扱いの容易な型枠で、コンクリートの打ち放し面を美しく仕上げます。鋼製型枠や合板型枠の代わりに用いることで、地球環境の保全にも役立てることができます。
160	SENTANパイル工法	500	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	オールケーシング工法杭の杭先端支持力を向上させる技術で、杭径を小さくしたり、杭長を短くすることができます。また、先端地盤における支持力性状を確認できるため、信頼性が高い工法です。
161	栈橋急速施工法	500	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	海中に打設した杭にプレキャスト梁、プレキャスト床版をセットし、上部に場所打ちコンクリートを打設して一体化し、栈橋を構築する工法です。プレキャスト部材を用いることにより工期短縮が図れ、品質が優れています。
162	吊形式PC橋	500	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	吊床版橋、張弦桁橋、曲弦トラス橋など、曲線ケーブルで主桁や床版を支持したPC橋であり、軽量で経済的な形式です。
163	赤外線構造物診断工法	500	鉄道総合技術研究所・小田急建設・コンステック	小田急建設技術開発部	045-323-3974	別添一覧表参照
164	リフターワゴン工法	500	小田急・大成・川重	小田急建設技術開発部	045-323-3974	別添一覧表参照

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
165	白石式無人化ケーソン工法	500	(株)白石	技術営業企画部	03-3253-9120	ニューマチックケーソン工事において、潜函工が作業室内で函内掘削機を操作して掘削を行っていたが、これらを地上遠隔操作にすることにより、函内作業を無人で行い減圧症等の発症を抑えることができる。また、深度が深くなり作業気圧が高くなった場合、機械メンテナンス等で作業室内に入函する場合、ヘリウム混合ガスシステムを併用することで、減圧症を発症することなく、安全に作業が行える。
166	In-Cap工法	500	(株)白石、日特建設(株)、不動建設(株)の共同開発	ER事業部	03-3253-9119	In-Cap(Incremental Capacity)工法は、レベル2地震動相当の巨大地震に対する既設杭基礎の耐震補強工法です。In-Cap工法は、低コストでコンパクトな基礎の耐震補強構造であり、構造物トータルとして効率の高い耐震補強を実現します。また、新設構造物に適用することにより経済的な基礎構造とすることが可能となります。
167	プレテンション方式波形鋼板ウェブPCT桁橋	500	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進部	03-4562-3070	従来のPCT桁橋のウェブを波形鋼板に置き換えた複合構造物。上部軽量化。
168	低桁高波形鋼板ウェブPCI桁橋	500	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進部	03-4562-3070	波形鋼板ウェブ採用により桁高支間比1/35まで可能。上部工反力低減。工費縮減。
169	PSCG橋	500	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進部	03-4562-3070	HSDCを使用した低桁高橋。桁高支間比1/35、鉄筋配置省略、工費縮減可能。
170	高耐久・高耐震橋脚の急速施工	500	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	高耐久埋設プレキャスト型枠(SEE Dフォーム)と突起付きH形鋼を組合わせた鉄骨コンクリート複合構造橋脚で、耐久性・耐震性の向上した橋脚を極めて短期間に施工する工法
171	NDR工法	500	五洋建設(株)	五洋建設(株)	03-3817-7570	河川や港湾の水中構造物を、陸上条件と同じようにドライ状態で調査、補修、補強を行うための仮設工法である。
172	インターロッキング型配筋構造によるRC橋脚構築工法	500	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	RC橋脚の横拘束筋合理化による建設コストの低減
173	3H工法(Hybrid Hollow High Pier)	500	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	プレハブ・複合部材を用いた橋梁下部工の設計・施工技術
174	アマックスG工法	600	(株)淺沼組	土木技術工務部	03-5269-3131	従来の工法にGPSを搭載し、転圧機械の位置をリアルタイムに計測管理ができるシステム
175	N&H強制圧密脱水工法	700	清水建設(株)	土木事業本部技術第一部	03-5441-0554	真空圧を利用して地盤内の水や空気を強制的に脱水し、地盤の密度および強度増加による地盤改良工法

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
176	盛土施工管理システム	700	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	自動追尾トータルステーションとCADを利用した情報化施工システム
177	高強度RCプレキャスト舗装版	800	(株)ガイアートクマガイ	新事業推進室	03-5261-9212	本技術は大型航空機やコンテナ用クレーン等の重荷重に耐えられる舗装として開発され、急速施工や現場施工の省力化、夜間における低騒音工事が可能な方法である。特に舗装版は版同士を剛性の高いコッター式継手で連結することから平面一体化舗装が可能である。
178	機能回復型凍結抑制舗装(FAP)	800	(株)ガイアートクマガイ	技術研究所	0297-52-4751	凍結抑制舗装「フリーズアタックペーパー」(以下FAP)は、開粒度アスコンの空隙に、塩害の少ない酢酸系塩類を吸収させたポリマーを注入させ、セメントミルクで固定させた半たわみ性舗装タイプのもので、ポリマーが塩類(または塩化物)を保持するため効果の持続性が長く、またポリマーは何度でも塩類(または塩化物)を吸収でき、また比較的舗装表面に分布するため、表面に塩類(または塩化物)を散布することによって、その機能を回復できることに特徴があります。
179	保水性舗装(クールペーパー)	800	(株)ガイアートクマガイ	技術研究所	0297-52-4751	保水性舗装(クールペーパー)は、開粒度アスファルト舗装の空隙に水分を保持できる吸水性ポリマーが注入され、保水性舗装用セメントミルクで固定されている構造のもので保持した水分が蒸発することによって、舗装体の温度上昇を抑えることができ、路面温度の上昇を抑えることができます。
180	発泡ビーズ混合軽量土工法	800	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	土と発泡スチロールビーズを混合・軽量化した盛土工法。密度・強度変更可。
181	ハイビーウォール工法	800	大日本土木(株)	エンジニアリング部	03-5229-8809	改良土ジオグリッドを用いた新しい補強土壁工法
182	遮熱排水性舗装(クールパーピラス)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	排水性舗装に遮熱コート「クールトップ」をコーティングした路面温度の上昇抑制機能を有する遮熱排水性舗装です。従来のアスファルト舗装に比べ約10～20もの路面温度を低減できます。
183	保水性舗装(クールポリシール)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	半たわみ性舗装用開粒度アスファルト混合物の空隙に保水能力の高い「クールグラウト」を充填し、保持した水分の気化潜熱を利用して路面温度の上昇を抑制する保水性舗装です。
184	車道透水性舗装(アクアパーピラス)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	舗装体中に適度な空隙を確保し、降雨を表層、基層、路盤を通して路床以下に浸透させ、重交通道路にも適用できる雨水貯留浸透型の舗装です。
185	透水性レジンモルタル(パームス)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	排水性舗装表面の空隙にセラミック系人工骨材と特殊エポキシ樹脂を混合した透水性レジンモルタルを充填した舗装体です。排水性舗装の骨材飛散や空隙づまりを抑制し、その機能を長期間にわたって維持することができます。
186	排水性舗装トップコート工法(パーピラスコート)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	排水性舗装の表面に特殊な樹脂を散布し皮膜形成させる工法です。排水機能を損なうことなく、バインダーによる骨材間の結合力をさらに強化させ、摩耗や骨材飛散などに対する耐久性を向上させることができます。
187	二層同時敷均工法(DLペーパー)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	2種類のアスファルト混合物を上下それぞれの層に分けて1回の施工で敷きならし・締固めて仕上げる工法です。施工には、2層同時舗設型アスファルトフィニッシャー「DLペーパー」と、アスファルト混合物供給機「アスファルトローダ」を使用します。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
188	明色砕石マシチックアスファルト舗装 (ホワイトエスマック)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	脱色バインダー、白色顔料、明色骨材などを使用して、混合物を白色化した砕石マシチックアスファルト舗装です。コンクリート舗装と同等の明色性を有するとともに、耐摩耗性、耐流動性、水密性、ひびわれ抵抗性をも兼ね備えています。
189	防水砕石マシチックアスファルト舗装 (防水エスマック)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	エスマックの特長の一つである水密性を高め、防水用に配合改良した砕石マシチックアスファルト舗装です。混合物を十分に締め固めて不透水性を確保するために、施工性改善の特殊添加剤「フォームセット」を使用します。
190	路上再々生路盤工法 (スーパーFRB)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	スーパーFRB工法とは、破損した固結再生路盤をもう一度路上で再生する路上再々生路盤工法です。従来のロードスタビライザでは困難だった固結再生路盤の破碎・混合が高性能スタビライザで効率よく行うことができます。
191	切削型注意喚起舗装 (ランブルストリップス)	800	(株)NIPPOコーポレーション	工務部 生産技術グループ	03-3563-6731	車線逸脱を音や振動によって運転者に警告する注意喚起舗装です。路面に凹型の切削溝を一定間隔で設置し、車線を逸脱した車がその上を通過する時に、車体に生じる音・振動により運転者に警告を与えます。
192	セーフティウォール(ASW)工法	800	みらい建設工業(株)	企画営業部	03-5641-9104	セーフティウォール工法は、杭基礎と横矢板を主体とした垂直擁壁工法です。従来型の擁壁に比べ底版が無いことから、施工断面を小さくすることができ、在来地盤や自然法面への影響を最小限にとどめます。
193	景観舗装材	800	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	環境に配慮した舗装、廃棄物を有効利用した舗装、カラー舗装、天然素材を利用した舗装
194	貝殻を利用した舗装	800	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	かきがらを粉砕し舗装材料として使用する方法
195	ダンピー工法	900	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	既設管径 800～3000mm対象の管路更生工法。馬蹄・矩形管も可能。
196	HERT - Wall工法	900	三井住友建設(株)	土木設計第一部	03-5337-2135	ソイルセメント地中連続壁を地下構造物の本体壁に利用する工法です。芯材には継手を有する角形鋼管を使用し、鋼管内部はコンクリートを充填し耐力を高めます。建設用地の省スペース化やコスト縮減が可能になります。
197	柔構造水路・柔構造樋管	900	三井住友建設(株)	土木設計第一部	03-5337-2135	軟弱地盤上に構築される水路・樋管をアラミドロッドで緊結することにより、地盤の不同沈下や側方変位に追従できる新しいタイプの構造です。大きな変形特性を有するとともに耐久性も向上します。
198	没水型低水護岸急速省力化工法	1000	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	没水型低水護岸の施工において本来必要な仮締切を不要とする護岸構築省力化工法
199	OSJ工法	1100	アイサワ工業(株)	技術研究所	086-944-1103	オープンシールド機により、掘削から埋戻しまでの一連作業を連続して行う開削管渠埋設工法

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
200	ボックスベアリング横引き工法	1100	安藤建設(株) ジオスター	安藤建設(株) 土木事業部 工事情報管理G	03-3457-9636	ボックスカルバートを所定の搬入口より吊りおろし、ベアリング(鋼球)とウィンチによりレール(形鋼)に沿って、牽引してボックスカルバートを敷設する工法
201	合成構造取水路・放水路	1100	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	鋼・コンクリート合成構造の取水路で、鋼管の内面および外面がコンクリートに覆われているので水密性が高く、あらかじめ製作ヤードで部材をプレキャスト化しているため、品質が優れており、急速施工が可能な合成管路です。
202	ハードロック工法	1100	(株)森組(黒澤工業(株))	ハードロック工法協会	03-3808-2101	硬質岩盤、礫・玉石・転石層の推進工法 鋼管さや管方式 エアハンマーによる打撃工法 高精度の推進可能 対応管径 400～800 最大推進延長150m
203	ECエントランス	1100	(株)森本組	エンジニアリング部	03-3265-9105	地盤改良を必要としない小口径推進坑口
204	透過性防波堤	1300	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	従来の防波堤に特徴のある通水路を設けて、波を効果的に遮断し、海水の循環を促す透過性防波堤を構築する技術。さらに、港内の静穏度や港内水質の評価も可能。通水路としては、ステップ型やスロープ型がある。
205	多機能水中施工機械 水中バックホウ・ビッグクラブ	1300	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	陸上機械と同等の性能を持ち、水中作業用として開発した水中作業機である。通常バケットの他に捨石均し、転圧、ケーブル埋設、トレンチ掘削等のアタッチメントがある。
206	管内混練固化処理システム スネークミキサ工法	1300	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	軟弱土砂の空気圧送と固化処理を管路内で同時に行える管内混練固化処理システムである。汎用機械を組合せ、広範囲の施工規模に対応できる。(40～1,000 m <sup>4</sup> /h)
207	浚渫空気圧送船 「伯水1号」「伯水5号」	1300	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	組立台船上に搭載したバックホウ等で原地盤に近い含水比のまま水底を掘削し、目的地まで空気搬送できる小型空気圧送船である。(40～60 m <sup>3</sup> /h)
208	FM(フローティングマット)工法	1300	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	人間の歩行が困難な超軟弱地盤に網目構造のネットを敷設し、その上に重機が進入できる良質な覆土地盤を造成する表層処理工法である。
209	水中盛土施工管理システム (EMS)	1300	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	大水深・軟弱地盤における安全・効率的な大量盛土施工が行えるシステムである。投入土砂の堆積形状予測・土運船の適切な誘導によりバージによる直接投入が可能である。
210	管中混合固化処理工法	1300	東洋建設(株)	技術部	03-3296-4623	空気圧送中の浚渫泥土に管中で固化材を添加し、圧送中に発生するプラグ流の混練り効果を利用して管路内において浚渫泥土と固化材を混練すると共に、管路の途中に配置した静的ラインミキサーにより強制的にプラグを崩壊させ、さらに混練りすることにより、固化改良土を製造するものである。
211	機械式シート敷設工法	1300	東洋建設(株)	技術開発部	03-3296-4624	護岸等の基礎及び裏込工の吸い出し防止工として、ロール状に巻き取った高伸度シートをクレーン台船上から専用敷設機及び管理装置を使用して、遠隔操作で敷設する方法。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
212	軟泥用スクレープローター式高濃度浚渫工法	1300	若築建設(株)	技術部	03-3492-0422	従来のポンプ式浚渫船のラダー先端に「スクレープローター式浚渫ヘッド」を装備し、スイング速度に応じたローターの回転により高濃度で軟泥をとりこみ、真空ポンプ付き渦巻きポンプにより吸排泥を行い船外へ排送する工法で、これにより水質汚濁の主原因となっている汚泥を薄層で効率よく除去することができ、また掘り残しなく浚渫面がフラットなため水質浄化のための汚泥薄層浚渫に適している。 <適用条件> 自然条件:波高(H1/3):0.3m以下、風速:5.0m/sec以下 船体寸法:(長)40.0m×(巾)8.0m×(深)1.6m×(吃水)1.3m 対象土砂:軟泥
213	W-管混合工法	1300	若築建設(株)	技術部	03-3492-0422	浚渫泥土を搬送する空気圧送管内に固化材スラリーを添加し、プラグ流の紺練り効果とW-管とよばれる二股管での混合効果により泥土と固化材を効率よく混練りし、浚渫泥土を埋立材などとして有効利用できるリサイクル工法である。専用の混練りプラントやミキサーを使用しないため、安価にかつ大量に浚渫泥土の固化処理が可能である。また、大型圧送船にも容易に対応できる。 <適用条件> 対象土砂:軟泥(シルト、粘性土、ヘドロ) 作業スペース:W-管が設置できるだけの幅は必要
214	脱水・減溶化システム	1300	若築建設(株)	技術部	03-3492-0422	真空効果を併用したフィルタープレスによって、浚渫土や建設汚泥を効率的に脱水・減容化するものです。真空を併用することによって、単位時間当たりのろ水量が増えるため、短時間での脱水が可能です。
215	高濃度浚渫システム	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	泥土を建設資材として有効活用する為に、浚渫から土質改良までの一連の処理を連続的に行うシステム(トゥーリフレッシュシステム)
216	高濃度薄層浚渫装置	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	浚渫する泥土厚に対応して余分な水を取り込みを防止し、浚渫後の汚濁を防止できる高濃度浚渫装置
217	脱水促進剤	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	脱水促進剤を利用する高含水浚渫泥土の処理方法
218	浚渫用密閉グラブバケット	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	浚渫時余分な水を取り込みを防止し、浚渫後の汚濁を防止できる高濃度浚渫グラブバケット
219	管中混合固化処理システム(シンプルライン工法)	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	土砂改良プラントが不要でコストも低減でき、しかも土砂に改良材を確実に混合できる浚渫土砂移送システム
220	管中混合固化処理システム(エアバイパス工法)	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	管路内に土砂を圧縮空気とともに供給してプラグ流の状態で圧送する浚渫土砂移送装置において、土砂に改良材を確実に混合するシステム
221	管中混合固化処理システム(ドラムミキシング工法)	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	管路内に土砂を圧縮空気とともに供給してプラグ流の状態で圧送する浚渫土砂移送装置において、土砂に改良材を確実に混合するシステム

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
222	地盤改良スラリー攪拌工法(2軸式深層混合処理装置)	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	地盤改良機の攪拌軸の間隔を調整することができる2軸式深層混合処理装置
223	脱水促進剤	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	湖沼や河川、港湾等から得られる浚渫泥土を、排砂管の送泥途中で凝集させ、底部に排水機構を設けた処理ヤードに排出して自然脱水させることを効率よく行う工法
224	土砂の集積システム	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	ウオッシュロードや浮遊砂などの土砂を効率的に浚渫できるダム湖における土砂の集積構造
225	貯水池堆積土砂浚渫装置	1300	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	ダム湖などの貯水池における堆積土砂の効率的な浚渫ができる方法およびその浚渫装置
226	ファイバードレーン工法	1300	五洋・鹿島・アマノ(株)網干研究所	五洋建設(株)	03-3817-7570	軟弱地盤中にファイバードレーン材を打設することにより、軟弱粘性土の中に含まれる多量の水を早期に排出して、地盤の安定化を促進するパーチカルドレーン工法である。
227	脱水促進工法	1300	(財)土木研究センター-他	五洋建設(株)	03-3817-7570	湖沼や河川、海域などの大量な浚渫泥土(高含水泥土)を早期に脱水処理(天日乾燥)し、かつ強度発現を図り、浚渫泥土の有効利用を図る技術である。
228	SWAN工法	1300	五洋建設(株)	五洋建設(株)	03-3817-7570	回転バケット式集泥機は、浚渫速度と集泥機回転速度を同期させ、泥土を地盤から静かに切り取り、持ち上げ、浚渫する。これにより水底地盤を乱すことなく底泥を取り込むため、従来工法に比べ汚濁の発生量を減少させることができる。さらに、浚渫掘跡は平坦であり、余掘り量を軽減させることができる工法である。
229	袋詰脱水処理工法	1300	(独)土木研究所他	五洋建設(株)	03-3817-7570	ジオテキスタイル製袋に高含水比土を充填して脱水を促進、土質材料として有効利用できる工法である。
230	建設汚泥の高度処理・利用技術	1300	(独)土木研究所他	五洋建設(株)	03-3817-7570	建設汚泥を脱水・造粒したのち1000℃、1時間焼成することによって砕石ドレーン工法の砕石代替材(焼成ドレーン材)の製造およびその利用技術である。
231	PBS工法	1300	PBS協会	五洋建設(株)	03-3817-7570	海岸消波構造物(離岸堤、突堤等)、あるいは、港湾外郭施設(防波堤、岸壁、棧橋等)に対して、海中に打設した鋼管杭群にプレキャストコンクリートブロックを連結して一体化し、杭基礎ラーメン構造体による海岸消波構造物あるいは港湾外郭施設構造物を構築する工法である。
232	END工法	1300	五洋建設(株)	本社営業部	03-3817-7570	薄層浚渫グラブバケット(=ENDグラブ)と、浚渫管理及び操船管理システムで構成され、必要最小限の浚渫土量で済むよう薄く均一に水底を浚渫することが可能で、土中障害物の除去に適しており、水質汚濁の拡散も少ない、環境に配慮した浚渫工法である。
233	現位置攪拌混合固化工法	1400	小野田ケミコ他		042-926-3414	現位置の土とセメントミルクを攪拌混合し、構造体を構築する
234	固化処理した底泥土の砕・転圧盛土工法	1400	(株)フジタ	土木本部技術統括部	03-3796-2297	ため池に堆積したヘドロ状の泥土に固化材を添加し、堤体補強の盛土材として再利用する技術です。固化処理した土を解砕し敷均し転圧することにより、従来の固化処理した土をそのまま盛土する場合と違い地山とのなじみが良くなり、クラック等の発生が抑えられます。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
235	ため池環境整備技術	1400	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	有機物を含む湖沼・ため池の低泥を強度を持った土に改質して堤体補強土等に再利用したり、流入した生活雑排水で汚染された水域の水質を直接浄化、流入水の浄化、ピオトープに関する技術等
236	スパイラルタンク	1500	浅野工事(株)	技術部	03-3666-8325	コイル状の鋼板を螺旋状に巻きながらラップする上下端部を専用の機械で重ね折りして接合、地上から上部方向にタンクを伸ばして築造するもので、溶接がほとんど必要なく、大掛かりな仮設足場も無く現場施工が可能
237	アルミニウム合金製屋根(テムドーム)設置工法	1500	(株)フジタ・TEMCO社	土木本部営業統括部	03-3796-2296	PCタンクにアルミニウム合金製屋根を設置する工法です。タンク内に水が貯水されているときは空気膜の設置で、無水状態では大型移動足場を採用し、足場工を大幅削減することにより工期短縮が可能となります。
238	アルミニウム合金製屋根工法	1500	三井住友建設(株)	土木設計第二部	03-5337-2136	アルミ合金の軽量性、高耐久性を活かした屋根の急速施工法です。通常のRCドーム屋根に比べて、建設コストやメンテナンスコストを低減でき、工期も短縮できます。
239	パワーグリッド工法	1600	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	強靱な地盤を造る補強土工法
240	PTC本設地盤アンカー工法	1700	安藤建設(株) 他12社	(株)エスイー	03-3340-5529	PTC工法は、構造物の基礎に用いる永久アンカーで、鉛直アンカーと斜めアンカーがある。鉛直アンカーは地震や暴風時における高層建物、塔状建物、煙突、鉄塔などの転倒防止や、水圧による建物の浮き上がり防止に効果的である。また斜めアンカーは傾斜地における偏土圧による滑りや転倒防止に対し効果的である。そのためPTC工法による施工は、合理的で経済的な設計および工期短縮、土地の有効利用等さまざまなメリットを有する。
241	伐採材有効利用法(エコ法)	1700	清水建設(株)	技術研究所 施設基盤 技術センター		伐採材チップを有効利用した法面保護工
242	組杭抑止杭工法	1700	大日本土木(株)	エンジニアリング部	03-5229-8809	小口径鋼管を用いた斜面補強システム
243	自然法面工法	1700	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	型枠用の布製チューブ中に高流動モルタルを注入して法枠工を形成する工法であり、自然繁殖による植生を活用して既存の植物体系を維持したまま法面保護工を施工する工法である。
244	表土吹付工法	1700	飛鳥建設(株)	環境研究室	04-7198-7577	既存表土中の種子を利用し、新設法面の緑化を行う。地域生態系への配慮が要求される工事には適しています。
245	CAL工法	1700	(株)福田組	環境エンジニアリング	025-227-5511	木質系廃材を炭化処理し添加剤とPH調整材で混合した後法面に吹き付ける
246	鋼製スリットウォール工法	1700	村本建設(株) (株)タジマ工業	技術営業グループ	03-3238-2151	補強材にチェーンを用いた補強土の新工法。従来工法での工費を大幅削減可能。用途に応じ緑化壁・PC壁を選択。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
247	ユニラップ工法	1700	ライト工業(株)	法面防災部	03-3265-2454	吹付法枠の高品質・高強度のモルタルコンクリートを提供する為エアープンプ圧送工法を実現、水平500m、直高150mまで圧送でき高所での法枠・構造物への打設から補強・補修工事まで適用できる。
248	ローピングショット工法	1700	ライト工業(株)	環境緑化部	03-3265-2445	耐候性や耐久性に優れた長繊維をエアーによってホース内を強制的に連続搬送し、生育基盤材中に混入させた工法です。長繊維の混入は、生育基盤材の補強と耐浸食性を向上させ、省力化によるコスト縮減が可能。
249	ローピングウォール工法	1700	ライト工業(株)	環境緑化部	03-3265-2445	砂とセメントの混合物に長繊維をエアーの圧力で強制的に吹付ノズルの先端にて混入させ、吹付により補強土構造物を造成し、その補強土表面を厚層基材吹付工などで緑化する2種類からなる工法の一体施工方法の総称です。補強土によって法面の安定化を図るとともに、その表面を緑化することで景観の向上を図ることができる。
250	エコサイクル緑化工法	1700	ライト工業(株)	環境緑化部	03-3265-2445	建設副産物をはじめとする様々な廃棄物を、法面緑化工事用の生育基盤材の一部として有効利用し、自然回復を図るリサイクル緑化工法。
251	オールグリーン工法	1700	ライト工業(株)	環境緑化部	03-3265-2445	建設副産物である砂質系現地発生土や伐採木・抜根チップなどを現地で専用の全自動ミキシングプラントにて混合し、高所作業車取付吹付ノズルシステムを用いて樹林化などに適した厚い生育基盤を大量搬送・吐出により造成する環境配慮型吹付緑化工法。
252	法面緑化工法(プレプラント緑化工法)	1700	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	あらかじめ育成した多様な植生ユニットを用いてダム工事や農道工事に多い切り土岩盤やコンクリート吹きつけ裏面等の無土壌法面に対して早期に緑化を計る
253	擬似擁壁工法(SW工法・TOP工法)	1700	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	ロックボルトと表面保護工により地山の擬似擁壁化を図ることによる地山補強土工法
254	ラディッシュアンカー工法	1700	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	太径棒状補強体を用いた地山補強土工法
255	VSL-J1永久アンカー工法	1700	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	永久地盤アンカー工法
256	発泡樹脂 微生物固定化担体	1800	浅野工事(株)	技術部	03-3666-8325	下水・し尿・産業排水等の処理において、反応槽内に、「ポリプロピレンを原料とし、微生物の固着性並びに表面積増加のための発泡操作を行い、水中での流動性、汚濁物質との接触効率等を改善した十字型発泡樹脂担体」を使用し、効率的に汚水中の有機物や窒素類を分解・除去する処理システム
257	電磁波殺菌コンポストシステム	1800	浅野工事(株)	技術部	03-3666-8325	マイクロ波加熱方式(電子レンジの原理)で、0-157を始めとする原料汚泥を85°Cで2分間以上加熱し、病原性細菌の殺菌を行うのと同時に、電子エネルギーにより汚泥の水分を低下させる
258	FRJ工法	1800	(株)福田組	技術部	025-227-3531	滞水砂層地盤でも補助工法なしの非開削で取り付け管の接続が可能となる工法
259	スーパーマイクロ工法	1800	真柄建設(株)	技術研究所	0761-51-7400	小口径推進工法では、従来不可能とされた長距離曲線推進を可能とした泥水1工程式推進工法
260	マイクロ工法	1800	(株)真柄建設	技術研究所	0761-51-7400	小口径推進工法では、従来不可能とされた長距離曲線推進を可能とした泥水2工程式推進工法

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
261	プラス工法	1800	ライト工業(株)	プラス工法部	03-3265-2457	ベントナイトを主材料とするプラスマッド安定液を壁面安定液として溝を掘削し、一定の長さにあらかじめ連結した管あるいはボックスカルバートをその中に沈埋して所定の位置で吊り金具にて固定し、プラスマッド安定液を個化することによって工事完了とする簡便で画期的な工法です。
262	APG工法	1900	(株)新井組	環境・技術営業部	3442 6681	コンクリートガラで擁壁を造るプレキャスト重力式擁壁工法
263	グラウンドカバープランツの動力吹付緑化工法 <ビオセル・ショット工法>	1900	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	従来、人力による植付けに頼っていた栄養(苗)繁殖性植物の機械吹付けを可能にした緑化工法
264	ハイブリッド浮島	1900	建設省土木研究所・(財)土木研究センター及び民間11社の共同開発	技術本部	03-5427-2316	ハイブリッド浮島は、生態環境の環境整備対策としての浮島と都市排水路の浄化等に使用されている糸状生物担体を組み合わせたシステム。波浪の抑制による侵食の防止と植生帯を保全。浮島の下には魚類の生息空間の創出も可能。
265	コンパクトウエットランド	1900	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	湿地(ウエットランド)を用いて自然環境を維持しつつ河川の水質を浄化するシステム。少ないスペースで効果的な水質浄化が可能。一次処理としてバイオリアクターで汚濁の負荷を下げ、一次処理水と余剰汚泥とをウエットランドに流し浄化する。
266	油汚染土壌の浄化技術	1900	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	油汚染土壌を洗浄や微生物処理により修復する浄化方法。移動設備式洗浄処理は汎用式の機械を使用し、小規模から大規模処理まで処理システムを提供することができる。また、微生物分解処理技術は、原地盤に生息する微生物を活性化し処理するもので、低コストで浄化することができる。
267	重金属汚染土壌の浸漬処理工法	1900	(株)奥村組(五洋建設(株)・鉄建建設(株)との共同開発)	技術本部	03-5427-2316	浄化は、浸漬処理と分級処理の2過程で構成される。浸漬処理は汚染土壌を洗浄液に漬け置きする方法で、水だけでは容易に洗い出せない汚染物質を分離し易い状態に転換する。分級処理は浸漬土壌をすすぎ洗いした後に、振動ふるい等で汚染物質が多く吸着している粘土成分を除去する。
268	エンピコ式浄水システム	1900	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	ホーラスコンクリートを使用した急速ろ過システム。ろ過材に砂および活性炭を使用。
269	膜ろ過式浄水システム	1900	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	セラミック膜および中空糸膜を使用したろ過システム。自動運転が可能。
270	土壌修復工法	1900	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	ダイオキシン類等の汚染物質を、還元剤を加えて無害化する工法。
271	泥水クローズドシステム	1900	(株)鴻池組	大阪本店土木設計部	06-6244-3671	分散剤と遠心分離機の導入により、掘削泥水の劣化を未然に防止し、大幅なプラント設置面積の縮小と建設汚泥の減容化を図った。
272	環境付加低減型ソイルセメント工法	1900	(株)鴻池組	土木本部エンジニアリング部	06-6244-3619	セメントミルクの注入・攪拌による地盤改良や山留め壁構築等において、廃棄ソイルセメントスラリーの発生量を大幅に削減できる。
273	エコシャフト	1900	(株)鴻池組	大阪本店土木技術部環境G	06-6244-3675	都市部の狭い用地でも構築可能な廃棄物の大深度保管システム。
274	アオコの急速処理技術	1900	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	発生したアオコを周辺環境に影響を与えず効率良く廉価で迅速に除去する装置であり、加圧・遠心加速・衝突等の物理力を利用している。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
275	現場内発生廃棄物利用の緑化 土壌造成工法(RECO-Soil工 法)	1900	清水建設(株)	土木事業本部技術開 発部	03-5441-0518	現場で発生したコンクリート塊や木片等の廃棄物を場外処分することなく、場内でリ サイクルし、緑化土壌を造成する工法
276	人工海底山脈築造技術	1900	西武建設(株)		042-926-3414	石炭灰を再利用して海底に山脈を構築し、人工漁場を築く
277	RCCL工法	1900	西武建設(株)		042-926-3414	リサイクル砕石を利用したベントナイト混合土
278	ナチュラルマット	1900	西武建設(株)		042-926-3414	急傾斜部における遮水層構築技術
279	ダレクトジオテックシステム	1900	西武建設(株)		042-926-3414	吹き付け遮水シート工法
280	ゲルシステム	1900	西武建設(株)		042-926-3414	廃棄物最終処分場の漏水検知・修復技術
281	オーバークャッピングシステム	1900	西武建設(株)		042-926-3414	廃棄物最終処分場の跡地整備技術
282	西武レオロック	1900	西武建設(株)		042-926-3414	二次製品の遮水ブロック(材料はベントナイト)
283	ア-ス-パ-リア-プロセス	1900	西武建設(株)		042-926-3414	汚染土壌の封じ込め技術
284	底泥置換覆砂工法	1900	大成建設(株)	土木技術部	03-5381-5281	湖沼底の泥とその下の砂の置換工法
285	透過性浄化壁による硝酸性窒 素汚染地下水の浄化	1900	大成建設(株)	土木技術部	03-5381-5281	透過性浄化壁工法による硝酸性窒素汚染地下水の原位置浄化
286	PFP工法	1900	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	浚渫土等を分離・分別及び脱水し、大幅に減容化する高圧フィルタープレス工法。
287	ソイルロックシステム	1900	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	シールド工事や基礎工事から発生する高含水の軟弱土砂を連続的に改良するシス テム。小型・無騒音・無振動・自動制御・経済的などの特長を持つ。
288	インバート発生土利用システム	1900	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	鉄道や道路のシールドトンネルにおいてインバートに掘削土砂を再利用する工法。 建設発生土を削減できる。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
289	汚染土壌浄化技術	1900	(株)竹中土木	技術本部	03-3542-6321	ダイオキシン、重金属、揮発性有機化合物等の有害物質や油等で汚染された土壌を低コスト、高品質で浄化する技術
290	データマイニングを用いた定性データの相関解析	1900	(株)地崎工業	土木部技術課	03-3592-6955	難しいとされてきた定性データ間の相関解析や諸現象をデータマイニングにより解析
291	自然循環方式水処理システム	1900	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	自然の浄化機能を活用した水質浄化技術であり、多孔質接触酸化材やマイクロハビタット(微生物の住みか)用木炭、木質材、脱臭・脱色用特殊木炭およびリン除去装置等を組み合わせて効率的に浄化するシステムである。
292	土壌汚染の原位置浄化工法	1900	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	土壌に洗浄液を注入または混合し、汚染物質が溶出し易い状態にして分級洗浄処理を行う原位置浄化工法であり、洗浄液には有機酸を使用して浸漬放置後にプラントで分級洗浄を行い、不溶化処理を施して再生する土壌浄化工法である。
293	バイオガスシステム	1900	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	INNOVAS社(ドイツ ミュンヘン)がミュンヘン大学と共同開発した技術であり、家畜ふん尿、生ごみ等の有機性廃棄物を嫌気性発酵させ、発生するメタンガスを集めて自家発電/温水給湯のエネルギーとして有効利用するシステムである。
294	ニューカラーコート・E	1900	東亜道路工業(株)	本社営業部	03-3405-1813	豊富なカラーパリエーションで景観舗装に適している、耐久性が高い。
295	ピオパーク	1900	東洋建設(株)	環境エンジニアリング部	03-3296-4623	水耕性植物を配した緩傾斜水路に湖沼や河川の汚濁水を通し、水路内の水耕性植物に水質汚濁の原因物質である窒素やリンを栄養分として吸収させることで水質浄化を図るものである。
296	ダイオキシン類汚染底泥のトータル処理システム	1900	東洋建設(株)	環境エンジニアリング部	03-3296-4623	汚染底泥の浚渫から無害化まで一括施工・管理できるシステムで、特に、従来技術との違いは、土砂の脱水時に発生する過水を低清浄る過水と高清浄る過水に分けることによって、後処理である凝集沈殿装置を省略することが出来る。また、高清浄る過水は従来、ろ過塔と吸着塔の2塔によって処理していたが、新規材料を使用することによって両性能を持ったろ過吸着塔のみで処理が完了できる。なお、当該技術は適用する条件は特になく、底泥であれば何にでも対応可能である。
297	吹付型吸音工法	1900	飛鳥建設(株)	環境研究室	04-7198-7577	凹凸面にも使用できる屋外吸音工法で、大気浄化機能もおこなえます。
298	飛砂防止工法	1900	(株)福田組	技術部	025-227-3531	ガレオナイトHKを土壌改良材として使用した無公害な飛砂防止工法
299	OCシステム	1900	(株)福田組	環境エンジニアリング	025-227-5511	木質系廃材を植物性バインダーで固化させた後歩道等に使用する工法
300	緑化技術(CGボード、よりどりみどり)	1900	(株)福田組	環境エンジニアリング	025-227-5511	保水性、透水性、施工性に優れた炭のボード材に芝を張ることで緑化が可能となる
301	クローズドシステム	1900	(株)福田組	環境エンジニアリング	025-227-5511	埋立地を移動式屋根で覆うことで外界と遮断できクリーンな処分場を建設できる。屋根を移動することで繰り返し使用できる
302	カプリオン	1900	みらい建設工業(株)	企画営業部	03-5641-9104	カプリオンは、河川や海岸などに敷設して護岸を構築するための護岸擬石です。形状及び製法は、ラテックス糊を浸透させ圧型し椰子の糸で編み込んだ椰子繊維マットを型枠として用い、コンクリートを打設し椰子繊維マットを一体的にしたものです。また、コンクリート量により重量の調整が可能なので、防災機能に適した効力を発揮する護岸擬石です。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
303	トリビオン	1900	みらい建設工業(株)	企画営業部	03-5641-9104	根固・被覆ブロックは、容易な施工性と優れた防災機能から自然と直接対面して使用されるケースが多くしかも大量に使用されてきました。その結果自然環境面において、緑や水辺の不調和・動植物の棲息阻害など色々な諸問題が生じてきています。そこで、従来のコンクリートブロックの施工性や防災機能を損なうことなくこれらの諸問題を解決するために、自然と調和・共生が可能なポーラスコンクリート(連続した空隙を有する、透過性・透気性が大きい、水質浄化機能を促進するといった特性を持つコンクリート)を併用し考案したブロックです。
304	地中汚染物質の封じ込め	1900	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	遮水壁による地中の汚染物質の封じ込め方法
305	人工ゼオライト	1900	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	理め立て処分されることが多い火力発電所の焼却石炭灰を資源循環の一環として農業用土壌改良材、水質浄化材、法面緑化材、汚染物質吸着材として利活用する技術
306	真空加圧脱水機による浚渫土・底泥の再利用技術	1900	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	長年にわたって沈殿した有機物を含む湖沼・クレークの低泥を真空加圧脱水機で強度を持った土に改質し、堤体補強土・道路材等に有効利用する技術
307	底泥・汚泥ケーキの植生用土壌化(ケーキリソイル)	1900	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	脱水したため池やクレークの低泥を団粒化改質・加熱乾燥改質・低温焼成改質・吸水改質等により植生用土壌に改質する技術
308	泥土再生利用技術(コカグリーン)	1900	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	湖沼やクレークの廃棄底泥を中性のまま改良する吸水性土壌改質材で、改質された土は農地の高上げ、植生用、盛り土材等に再利用可能
309	木チップの緑化基盤材利用(ウッドベース工法)	1900	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	ダム工事や大規模造成工事で発生する伐採材、ダム湖流木、間伐材を現地で短期間に堆肥化し、法面などへの緑化基盤材として有効活用を図る技術
310	土壌地下水汚染対策のエンジニアリング	1900	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	重金属や有機塩素系化合物等で汚染された、あるいは汚染の恐れのある土地や地域で、土壌・地下水汚染に関する一連の調査、計画、試験、設計、対策工事、アフターフォローを一元化して行うもの
311	クレイガード工法	1900	五洋建設(株)	本社営業部	03-3817-7570	浚渫土等の粘土に空隙調整材(ベントナイト)やゲル化材(水ガラス)を混合した土質系遮水材料(クレイガード材料)を遮水構造に取り入れることで、遮水構造に変形追随性を持たせる工法である。
312	FSコンクリートを使用したコンクリート二次製品	1900	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	天然骨材を使用しないコンクリート二次製品
313	アクアブリック	1900	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	雨水貯留・浸透槽用プラスチック充填材
314	ピオレーゼ工法	1900	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	接続蛇かご植生工法
315	アクアトラップ	1900	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	雨水貯留システム

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
316	原位置土壌浄化工法 「L & Rジオファイブ工法」	1900	(株)松村組	土木本部土木技術部	06-6354-8820	重金属及びVOCで汚染された土壌を掘り上げずに、直接原位置処理を行うため、安全面と経済性を飛躍的に改善した。
317	シリカ薄液液状化対策工法	2000	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	浸透性に優れた溶液型超微粒子シリカを注入薬液に用いた注入固化による液状化対策工法。改良半径が大きく削孔本数が大幅に減少するため、工期、工費の低減が可能。既設構造物直下や狭隘な現場での液状化対策工法に適用可能。
318	HYS C杭工法	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	地中に造成したソイルセメント柱にリブ付鋼管を挿入して合成杭を構築する。
319	つばさ杭	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	鋼管杭の先端に設けたらせん型の翼により、大きな先端支持力によるコスト低減と無排土施工が可能。
320	Geo - KONG工法	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	起振機の代わりに静的に材料を突き固めながら地中に圧入し地盤を締固める工法。材料にコンクリート廃材や溶融スラグ等のリサイクル材を利用できる。
321	締固め砕石ドレーン工法	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	ケーシング内に配備した突棒による周辺地盤の締固め効果を兼ね備えることによって、従来の砕石ドレーン工法をよりグレードアップした工法。
322	砕石ドレーン工法	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	砂地盤中に砕石等を柱状に打設し、水平方向の排水距離を短縮させることで排水効果を高め、液状化を防止する工法。
323	N & H強制圧密脱水工法	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	ドレーン材、気密シート等の部材を改良することにより、高品質、工期短縮、コスト削減を可能にした真空圧密工法。
324	動的グラウチング工法	2000	(株)鴻池組	土木本部原子力部	03-3296-7648	通常は一定である注入圧力に10Hz程度の脈動を与えることによりグラウトの流動性・浸透性を高める効果があり、ダム基礎処理等へ適用できる。
325	自動化オープンケーソン工法 (SOCS工法)	2000	(株)鴻池組	東京本店土木設計部	03-3296-7602	自動水中掘削機でケーソン刃先部地盤を掘削し、玉石等の硬質地盤に適用できる自動化オープンケーソン工法。掘削震度100mまで施工可能。
326	曲線ボ - リング工法	2000	西武建設(株)		042-926-3414	曲線ボ - リングによる地下の有効利用
327	ラテラルジェット工法	2000	鉄建建設(株)	エンジニアリング本部	03-3221-2243	空気併用型二重管方式による高圧噴射攪拌工法を水平方向に施工可能とした工法であり、造成管と排泥管を分離し、内部圧力を利用して排泥量を調節しながら改良体を造成する工法である。
328	コンパクショングラウチング (CPG)工法	2000	みらい建設工業(株)	企画営業部	03-5641-9104	コンパクショングラウチングは、流動性の極めて小さいソイルモルタルを地盤中に圧入して均質な固結体を連続的に造成し、この固結体による締固め効果で周辺地盤を強化する工法です。ソイルモルタルは低流動性のため一般に地盤に浸透せず、注入点付近で地盤を強制的に押し広げてそのまま充填固結し、締固め効果を発揮します。これらの原理を基にして、緩い砂地盤の液状化対策に用います。
329	MSカップリングケーソン工法	2000	(株)守谷商会	技術本部	026-223-8192	ケーソン基礎の天端に設ける止水壁について、壁剛性を大きくして構造的信頼性を向上させ、さらに躯体との接合における安全性を高め、かつ着脱の簡便性を実現する。
330	RASコラム工法	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	セメント系のスラリーを利用した機械攪拌工法で大口径の改良が可能で、削孔攪拌ヘッドと攪拌翼が正逆回転することで、原位置とスラリーを機械的に高速攪拌混合し、従来方式で問題とされる攪拌土砂に共回りが解消され品質の改良が可能で、また従来の単軸式大口径に新しい二軸式が加わり、適用範囲を拡大。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
331	エコジェット工法	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	高圧噴射の施工に伴って、産業廃棄物として大量に排出されるセメント混じりの排泥が現在問題になっていますが、この工法は排泥にセメントミルクがほとんど混じらず、凝集分離等による減量化が容易にできる環境にやさしい高圧噴射工法。
332	オープンウイング工法	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	開閉翼可能な先端装置を使用し埋設物下、道路下の軟弱土を効率良く改良できる。小さな削孔径(200mm)で大きな改良体(最大1200mm)を造成できるうえ、使用される改良機は小型で、路上や線路上などの狭地でも機動性に優れている。
333	水平攪拌地盤改良(HEMS工法)	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	従来の地盤改良工法では施工困難とされる構造物直下等に存在する軟弱層の改良を可能にした水平攪拌工法です。開閉可能な先端装置を用いて、閉翼状態でパイロット削孔を行い、開翼して改良体を造成します。
334	拡幅式地盤改良工法(SWING工法)	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	拡幅機構を有した攪拌翼による機械攪拌に高圧噴射を併用することによって、部分改良、ラップ改良を可能にした、大口径の地盤改良工法です。
335	マックスパーム工法	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	本工法は軟弱地盤の強化を目的として開発され、注入工法の基本である浸水注入によりできるだけ土の骨格構造を壊すことなく注入剤を土の粒子間に浸透させる方法を用います。
336	TRD工法	2000	ライト工業(株)	地盤改良部	03-3265-2456	溝の掘削と固化液の注入、原位置との混合・攪拌を行ない地中に連続した壁を造成
337	軟弱地盤上の土構造物の安定化工法	2000	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	軟弱地盤上の土に中空埋設物(強化プラスチック管)を挿入推進させて、埋設することで、載荷土を軽量化する安定化工法
338	動的注入工法の開発	2000	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	脈動注入による確実性の高い地盤注入工法
339	深礎工事機械化工法	2000	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	深礎工事ロボットを使用した機械化深礎掘削工法
340	ベントリーシステム	2000	東急建設(株)	営業推進本部 土木エンジニアリング部	03-5466-5272	アースドリル杭に使用されるベントナイト安定液のリサイクルシステム
341	低空間既製杭中掘り工法「SPACE21工法」	2000	(株)松村組	土木本部土木技術部	06-6354-8820	従来の杭打ち機では施工が困難であった低空間・狭小場所での既製杭の施工において工程面と経済性を飛躍的に向上させることを実現している。
342	拡縮方式深層混合処理工法「拡縮コラム工法」	2000	(株)松村組	土木本部土木技術部	06-6354-8820	拡縮機構と正逆同時回転機構に特徴のある深層混合処理工法で、空掘部を有する地盤改良において工程及び経済的に効果を発揮する。
343	サイバーシート工法	2100	アイサワ工業(株)	技術研究所	086-944-1103	高強力ポリエチレン繊維を用いたコンクリート構造物補修・補強工法
344	サイバーメッシュ工法	2100	アイサワ工業(株)	技術研究所	086-944-1103	高強力ポリエチレン繊維を用いたコンクリート構造物剥落防止工法
345	ワタナベX工法	2100	アイサワ工業(株)	技術研究所	086-944-1103	高結晶性ポリプロピレン短繊維を用いた繊維補強コンクリート

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
346	JPG工法	2100	(株)浅沼組	土木技術工務部	03-5269-3131	空洞(埋設休止管、防空壕跡等)を碎石微粉(JP)で充填する工法
347	PRISM工法	2100	(株)新井組	環境・技術営業部	3442 6681	従来コンクリートでつくられていた構造物を、土構造物とすることを可能にした補強土壁工法
348	負圧吸泥式高濃度浚渫船	2100	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	浚渫地盤を乱すことなく軟泥を堆積状態に近い高濃度で浚渫する技術
349	管中混合固化処理工法 <ハラスミキシング工法>	2100	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	浚渫土砂に圧送管内で固化材スラリーを噴射注入し、混合・攪拌を行う工法
350	現位置攪拌混合固化工法 <ISM工法>	2100	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	施工箇所にある砂礫を現位置においてセメントミルクと攪拌混合し、所定の強度を有する基礎や構造物を構築する技術
351	センターポール式深礎掘削工法	2100	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	大深度深礎工事の機械化施工技術
352	泥土の急速脱水・減容固化処理 技術<マトラップ工法>	2100	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	脱水と固化を同時に行うことにより、効率的に減容化と有効利用を可能にした経済的な工法
353	ダイオキシン類汚染底泥の脱水 減容化・濾水無害化処理技術< ダイオラップ工法>	2100	(株)大本組	技術本部	03-3593-1541	ダイオキシン類含有泥水をフィルタープレスにて脱水減容化し、ダイオキシン類を封じ込めた脱水ケーキと清澄な濾水に分離する技術
354	スロットスターによるコンクリート 構造物解体工法	2100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	既設構造物や機械設備等に近接しているコンクリート構造物の改築・解体工事において、振動や粉じんを抑制し、既設の構造物に損傷を与えることなく解体できる工法。「スロットスター」を用いてコンクリートの解体部分の外周の縁切りを行い、ブレーカ、油圧くさび、ダイヤモンドワイヤーソー等を用いて破砕、切断する。
355	デメテル(Demeter)工法	2100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	モニター画面で、水中の状況や、水中構造物と解体機械の相対的な位置関係をリアルタイムで把握し、水中構造物を解体する工法。仮締切り工が不要で大幅な工期短縮、コスト縮減が可能。振動・騒音も低減できる。
356	最終処分場の自然加圧修復シ ステム	2100	(株)奥村組((財)地域地盤 環境研究所・(株)浅沼組・ 西部建設・(株)ホーチュンと の共同開発)	技術本部	03-5427-2316	最終処分場のしゃ水工の健全性の検知と修復が簡単に可能なシステム。しゃ水シートにより密閉された空洞部にスラリー状のしゃ水材を充填し、これに接続した連通管の液面の変動を測定し健全性を検知。シート破損と同時にしゃ水材が浸透し、自己修復を行い、漏水を防止する。
357	コンクリート構造物の耐久性診 断・評価システム	2100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	コンクリート構造物の塩害、中性化などの問題に関し、コンクリート構造物の劣化の程度、現状のコンクリートがどの程度の耐久性を有しているのかを評価診断するシステム。システムはパソコンで簡単に起動することができ、対話形式で評価診断を行える。
358	リ・パースコンクリート(解体コン クリートを全量使用した現場再生コ ンクリート)	2100	(株)奥村組	技術本部	03-5427-2316	現場で簡単に製造する再生コンクリートで、コンクリート廃材を現場内で破砕しそのまま骨材として利用する。JIS規格外のコンクリートとして使用できる。専用製造装置はコンパクトで10トトラックに積載可能。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
359	堤体非開削による遮水壁構築工法	2100	(株)クボタ建設	営業本部	03-3547-9178	推進工法によるダクタイトル鉄管の構築において、管内から遮水壁を構築する工法。
360	栈橋のプレキャスト施工技術	2100	佐伯建設工業(株)	技術本部技術部	03-5835-4722	栈橋の施工において承盤を陸上でプレキャスト化し、一括して設置することによって工期の短縮、安全性の向上、コストの縮減を図れる工法である。
361	3面プレキャストアラミド注入工法	2100	佐田建設(株)	技術部(東京)	03-5391-1553	アラミド繊維を工場で3面プレキャスト化し、狭いクリアランスでも施工可能なRC橋脚の耐震補強工法。
362	トンネル用循環型集塵装置	2100	佐田建設(株)	技術部(本社)	027-290-1641	トンネル坑内の粉塵を換気ファンにて坑外に排気し、高圧水噴射と三重のフィルター材にて除去する集塵装置。
363	ドリームホール工法	2100	佐田建設(株)	技術部(本社)	027-290-1641	下水道工事において、マンホールブロックを直接沈設する人孔築造施工装置の開発
364	クケイホール工法	2100	佐田建設(株)	技術部(本社)	027-290-1641	小口径推進の到達立坑とマンホールを兼ねた矩形プレキャストマンホールを使用した施工方法の開発
365	マイクロエース工法	2100	佐田建設(株)	技術部(本社)	027-290-1641	下水取付け管工事において、既設1号マンホールを発進立坑とした取り付け管(150)推進工法。
366	FRPグリッド増厚巻き立て工法(MR-S工法)	2100	(株)さとうベネック	土木事業本部技術部	097-537-8044	カーボン・アラミド・ガラスなどの高性能連続繊維を、耐薬品性に優れた樹脂で格子状に一体成形したFRPグリッドと付着性能に優れたポリマーセメントモルタルを使用して既設コンクリート構造物を補修・補強する工法。 従来工法と比較して、錆びず、軽量かつ高強度のFRPグリッドを鉄筋の代用とし、さらにポリマーセメントモルタルの施工を吹付としたことで、耐食性、耐候性に対する品質の安定性や作業性・安全性の向上が実現した。
367	アーバンクール(保水タイプ)	2100	世紀東急工業(株)	技術本部技術部技術推進課	03-3434-3248	舗装体内に保水された水分が蒸発し、水の気化熱により路面温度の上昇を抑制する舗装です。
368	アーバンクール(遮熱タイプ)	2100	世紀東急工業(株)	技術本部技術部技術推進課	03-3434-3248	微小中空粒子とアクリル系樹脂などを混合した樹脂系混合物を舗装表面に吹き付けて、太陽光の日射による路面温度の上昇を抑制する舗装工法です。
369	スペック・キーパー	2100	世紀東急工業(株)	技術本部技術部技術推進課	03-3434-3248	排水性舗装の空隙詰まり物質を除去して排水性舗装を回復させる機械です。
370	DD工法	2100	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	ケーソン等の水中構造物の製作工法で、製作時にドックを着底状態とするため風波浪の影響を受けにくく、安全で確実な施工ができる。
371	半円筒スリットケーソン	2100	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	反射波と波力を大幅に低減できる消波部材一体型の防波堤。優れた消波性能と経済性が特徴。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
372	DEFIMA	2100	大豊建設(株)	技術開発部	03-3297-7011	トンネルなどのコンクリート構造物を火災による熱から守る吹き付けタイプの耐火材。耐火性能と経済性に優れている。
373	走行式コンクリート点検システム	2100	(株)竹中土木	技術本部	03-3542-6321	台車に搭載したサーモグラフィとハイビジョンにより、トンネル覆工等のコンクリート構造物の表面及び内部の劣化を診断、最適な補修工法を選定するシステム
374	石炭灰リサイクル技術	2100	(株)竹中土木	技術本部	03-3542-6321	石炭火力発電所より排出される石炭灰の自硬性を利用し、地盤改良固化材に利用する技術。
375	雪冷熱蓄熱システム	2100	(株)竹中土木	技術本部	03-3542-6321	冬季の積雪を地下等の貯雪槽に保存し、夏季の冷房等に利用し、電力消費量を削減するシステム
376	高品質再生粗骨材製造技術	2100	(株)竹中土木	技術本部	03-3542-6321	コンクリート廃材から粗骨材を取り出して再利用するための、製造プラント。すり揉み機構により、セメント分を確実に除去する。
377	GRF工法	2100	大日本土木(株)	エンジニアリング部	03-5229-8809	深礎基礎周囲にロックボルト状補強材を配置して杭体積を縮する工法
378	DKIシステム	2100	大日本土木(株)	エンジニアリング部	03-5229-8809	在来推進工法付加可能な注入システム、推力検知システム
379	ISM工法	2100	大日本土木(株)	エンジニアリング部	03-5229-8809	現位置攪拌混合固化工法
380	防犯カメラの画像を用いた狭域地震観測・防災システム	2100	(株)地崎工業	土木部技術課	03-3592-6955	コンビニ・銀行に設置してある防犯用ビデオカメラの画像を用いた狭域地震観測・防災システム
381	ソイルセパレータ工法	2100	東亜建設工業(株)	土木本部 技術開発部	03-3262-5106	ソイルセパレータ工法は、遠心分離装置の一種であるソイルセパレータを用いて、泥水状態の浚渫土砂から砂分を取り出し、養浜・盛土・干潟などの各種建設材料にリサイクルするシステムです。
382	生物共生護岸	2100	東亜建設工業(株)	土木本部 技術開発部	03-3262-5106	生物共生護岸は、単調な生物相に偏りやすい護岸域に多様な生物の生息場を設け、自然との共生を図るものです。水辺やそこに生息する生物とのふれあいにより、人々の心に和みを与えてくれます。当社「護岸診断再生システム」による護岸診断サービスを行う際に、護岸リニューアルとしてご提案するメニューの一つです。
383	超多点注入工法	2100	東亜建設工業(株)	土木本部 技術開発部	03-3262-5106	超多点注入工法は、新しいタイプの液状化防止工法として注目されています。当工法は、数十から数百のノズルを地盤中に立体的に配置し、予め測定した透水係数等のデータから最適な圧力・流量による浸透注入を自動制御で行ないます。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
384	コンクリート充填検知システム	2100	東洋建設(株)	美浦研究所	029-885-7511	型枠内や鉄筋に取り付けた小型振動デバイスにより、見えない箇所へのコンクリートの充填を検知するシステム。 ・校正用のセンサや校正作業が必要なく、空気、水、コンクリートの識別が可能。 ・振動デバイスは小型、薄型で狭い隙間への充填検知が可能。 ・充填状況はリアルタイムで表示し、打ち上がり時間の記録も可能。
385	テラシステム(吸水型振動締固め工法)	2100	東洋建設(株)	技術開発部	03-3296-4624	液状化対策工法で、ケーシング先端部に給水装置を取り付け、振動締固め時に発生する過剰間隙水圧を強制的に排除し周辺地盤の密度を増大させるとともに、載荷装置により地盤表層部への締固めを可能とする吸水・載荷併用振動締固め工法である。
386	S D P工法(静的締固め杭工法)	2100	東洋建設(株)	技術開発部	03-3296-4624	液状化対策工法で、回転貫入装置に連結された外管ケーシングと油圧シリンダに連結された突き固め用の内管ケーシングから構成された二重管ケーシングによる静的締固め工法で、圧気による造成杭の拡径が可能であり、補給材料に建設発生土も利用できる。
387	石炭灰を利用した高含水土砂改良工法	2100	東洋建設(株)	技術部	03-3296-4623	高含水比の浚渫土を直接土砂改良装置に投入し、乾燥石炭灰を混合して、固化処理土を製造するものである。
388	U型水上コンベヤ工法	2100	東洋建設(株)	技術開発部	03-3296-4624	搬送用ゴムベルト断面がU型のコンベヤを用いた土砂輸送工法。U型コンベヤのフレームを複数に分割し、コンベヤを浮かせるためのフロートをゴムジョイントで接続することで水面上を乗り継ぎ無しで自由に曲送できる構造である。
389	ネオドレーン工法(障害物対応型液状化対策工法)	2100	東洋建設(株)	技術開発部	03-3296-4624	プラスチック系ドレーン材を用いた排水工法による液状化対策工法。軽量・小型の削孔型ドレーン打設機を使用しているため硬質地盤やコンクリートなどの障害物に対応できる。また、狭隘な区間や低振動のため近接施工が可能で、斜め方向にも打設出来る。
390	海水殺菌装置	2100	東洋建設(株)	建築営業部	03-3296-4616	ポンプでくみ上げた海水を送る配管途中に通電パイプを設置し、微弱電圧(5V前後)をかけることにより、海水中の微生物・細菌を滅菌する。
391	RCガード	2100	徳倉建設(株)・日本RCG(株)	土木本部技術部	052-961-3276	「RCガード」は塗布するだけでコンクリート表面を緻密に改質し、コンクリート構造物の耐久性を高め、長寿命化とライフサイクルコスト低減を実現する浸透性無機系コンクリート改質材。
392	地熱利用によるヒートポンプシステム	2100	徳倉建設(株)・ジオ・パイオニア	土木本部技術部	052-961-3276	地球温暖化が問題視されている中、地中熱を利用したエネルギー有効利用技術
393	貯水池法面防護工(ブロックマットの水上施工)	2100	徳倉建設(株)	土木本部技術部	052-961-3276	風化した法面を適切に工法を選定し防護工を施工する一連の設計施工システム
394	ダム水源地土砂対策	2100	徳倉建設(株)(有限責任中間法人ダム水源地土砂対策技術研究会)	土木本部技術部	052-961-3276	ダム湖や溜池等に堆積している土砂を浚渫し、湖の機能を復元させる技術

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
395	TDRショット工法	2100	飛鳥建設(株)	土木設計部	03-5214-7092	クリーンな作業環境で施工できる断面修復補修工法
396	SAVEコンポーザー工法	2100	不動建設(株)	ジオエンジニアリング事業本部技術統括部	03 3837 6034	静的締固め砂杭工法
397	M B M工法	2100	(株)真柄建設	技術研究所	0761-51-7400	直接基礎による建築物の基礎下に配置する特殊マットにより、交通振動の低減を可能とする工法
398	S A M M工法	2100	三井住友建設(株)	リニューアル室	03-5337-2138	アラミド3軸メッシュによりコンクリートの表面を保護し耐久性を高める工法で、構造物のライフサイクルコストを低減させます。
399	アラミド・ブラケット工法	2100	三井住友建設(株)	リニューアル室	03-5337-2138	補強に用いる外ケーブルの定着部を、主桁に確実に固定する工法です。複数の外ケーブル用定着ブロック(ブラケット)をアラミドFRPロッドを用いプレテンション方式で主桁に定着します。
400	フーチングPC補強工法	2100	三井住友建設(株)	リニューアル室	03-5337-2138	既設フーチングの水平・鉛直方向にプレストレスを与えることにより、せん断耐力、曲げ耐力を向上させる補強工法です。
401	M I D Tシート工法	2100	三井住友建設(株)	土木技術部	03-5337-2132	コンクリート表面を高機能防水シートにより被覆することにより、防水・防食機能をもたせ、高耐久、高品質の構造物を実現する工法です。
402	部分プレキャストシート補強工法	2100	三井住友建設(株)	リニューアル室	03-5337-2138	梁の側面と下面のみにアラミドシートを貼り付けるU字型補強と、付帯物を避けて部分的にアラミドパネルを全周巻付けをする部分閉合補強を併用する工法です。支承や落橋防止装置などの付帯物が梁上面に設置されており、閉合補強が困難な区間でも有効に補強できます。
403	ジオマリーン	2100	若築建設(株)	技術部	03-3492-0422	海面処分場の護岸背面に用いる材料で高い遮水機能と低コストを実現し自然環境にやさしい二重遮水シートです。特長には、高度な遮水機能、優れた施工性、品質管理が容易が挙げられます。
404	コンクリート構造物の健康診断のお勧め	2100	若築建設(株)	技術研究所	03-3492-0680	公開されている技術的情報や多くの施工経験を基にして独自に開発した「鉄筋コンクリート構造物の調査診断システム」を用いることによって、調査結果を体系的に評価することで客観性を付与し、維持管理方法や対策方法の計画を効率的に作成します。
405	SSP工法	2100	(株)白石	ER事業部	03-3253-9119	ハイルハント橋脚の耐震補強には、鋼板巻きたてが採用されている。これらの施工では、鋼板を設置するため、杭周辺に土留めを設置して土砂を掘削し、鋼板を設置する作業が行われている。SSP工法は、杭周辺を掘削することなく、圧入にウォータージェットを併用することで、鋼板を地上から設置することができる。圧入時の反力も杭から取るため、非常に狭いスペースでも施工可能である。
406	PCウェル-リフレ工法	2100	(株)白石	ER事業部	03-3253-9119	PCウェルの耐震補強には、鋼板巻きたてが採用されている。既設の橋梁直下で施工を行わなければならない、土留めの設置や掘削および鋼板設置に問題が生じる。PCウェル-リフレ工法は、圧入にウォータージェットを併用し、PCウェル周辺に鋼板を設置することができる工法である。ウォータージェットを使用するため、砂礫地盤まで適用可能である。

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
407	エコ-リフル工法	2100	(株)白石	ER事業部	03-3253-9119	既設の配水池・配水槽の多くは箱型コンクリート構造物でほとんどが旧設計基準で築造されている。これらはひび割れによる漏水発生や大規模地震に対する耐力不足が懸念される。エコ-リフル工法は、既設コンクリート製配水池・配水槽を補修補強する工法で、構造物の水平鉛直方向に外ケーブル方式で緊張部材を配置し、2次的にプレストレスを導入し耐震補強を行う工法である。
408	袋詰脱水処理工法	2100	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進	03-4562-3070	透水性の袋に、軟弱な土を詰め脱水を促進する環境対策処理工法。
409	水中PCコンファインド工法	2100	(株)ピーエス三菱	土木本部 メンテナンス部	03-4562-3024	PC鋼材を帯鉄筋として用いた既設橋脚の水中耐震補強工法。二重締切り等不要。
410	拡翼式中硬岩掘削機械	2100	(株)ピーエス三菱	土木本部 基礎部	03-4562-3027	中硬岩盤 (qu=50N/mm <sup>2</sup> ) をより確実・迅速・効率的に掘削できる。3.3~5.0m可
411	鋼矢板控え壁式自立土留工法 (SCB工法)	2200	(株)さとうベネック	土木事業本部技術部	097-537-8044	掘削面の土砂崩れを防ぐ鋼矢板の土留壁を控え壁と支圧壁で支えて自立させるもので、従来工法のように、掘削後の空間に横組の切梁を組んで土留壁を支える必要がない工法。 梁式土留工法と比較して、切梁や腹起しを使用しないので、掛け払い作業が無く安全で、箱抜などの構造物への悪影響を回避できる。 アンカー式土留工法と比較して、敷地境界までの余裕幅 (2~3m) が少なく済み、
412	切土拡幅工事の仮設防護柵 (L型ガード工法)	2200	(株)さとうベネック L型ガード工法研究会  (株)川嶋建設	土木事業本部技術部 (経営推進室)	097-537-8044 (0796-52-3123)	供用中道路の拡幅工事や、切土法面の崩壊等の災害復旧工事において、切土工や既設ブロック積み撤去時に破砕物の供用車線への飛散防止を図る防護柵の一種である工法。 従来の親杭横矢板土留工と比較して、短期間に交通規制箇所を移動しながら施工をすることにより工期を短縮でき、杭を打設しないため環境 (振動・騒音) に優しい。
413	仮設山留め鋼材の本体利用	2200	清水建設(株)	土木事業本部技術開発部	03-5441-0518	地下構造物を構築するための山留めに適用する柱列式連続地中壁で使用するH型鋼材を本体構造物として利用する技術。本体構造物の壁厚の薄肉化、地下空間の有効利用が可能
414	壁内井戸工法	2200	清水建設(株)	技術研究所 社会基盤技術セン	03-3820-6997	山留め内に設置した井戸により集水・涵養することで、線状地下構造物の建設により遮断される地下水を保全する技術
415	鋼矢板岩盤打込み工法	2200	大成建設(株)	土木技術部	03-5381-5281	本矢板を特殊カイド矢板に添わして岩盤に直接打込む。
416	スルーパス工法	2200	飛鳥建設(株)	土木技術部	03-5214-7086	地下水流の自然な復旧を促す目的で開発された土留壁工法
417	オープンウイング工法(拡翼式固化処理工法)	2200	五洋建設(株)、ライト工業(株)	五洋建設(株)	03-3817-7570	軟弱な地盤に対し、セメントミルクを注入しながら機械的に地盤を改良するし、小口径のパイロット削孔 (200mm) で大口径 (最大 1,200mm) の改良体を造成可能とした
418	RDS工法による総合管理システム	2300	安藤建設(株) 他4社	日本国土開発(株)	0462-85-3339	本工法は、地中連続壁を本設構造物として利用する事が可能な工法です。構造継手を使用する事で2方向版として機能させています。又、後打ち壁と合成構造とする事も可能です。施工管理支援システム及び継手洗浄機、鉄筋立起こし機を開発し、一体打ちと同等の性能を持つ継手工法を採用しています。
419	鋼コンクリート半円形仮締切工法	2300	東洋建設(株)	電力部	03-3296-4661	水深40mを超える高水圧に対して安定性及び止水性を確保できる仮締切で、貯水池水位を下げずにダム再開発を可能にしたもの。ボックス鋼矢板によるセル型仮締切であり、その内部には水中不分離性コンクリートを打設、その他安定性、止水性の確保のため様々な構造上の工夫を行っている。
420	制震ブレースを用いた耐震補強システム	2500	(株)青木建設	営業本部企画エンジニアリング部	03-5439-8508	建物の外壁面に摩擦ダンパーを組込んだ制震ブレースを取り付けることにより、大地震時における建物の揺れを小さくします。ほとんど外部からの作業で補強できるため、居ながら補強が可能です。
421	コンクリート構造物のライフサイクルコスト (LCC) 評価システム	2500	清水建設(株)	土木事業本部技術第一部	03-5441-0186	コンクリート構造物の長期劣化予測およびライフサイクルコストを評価し、適切な維持管理計画を立案
422	キャピラリーバリア	2500	日本国土開発(株)	施工本部	03-5410-5772	毛管力を活用した覆土で降雨浸透流量をコントロールする工法
423	動圧密工法	2500	日本国土開発(株)	施工本部	03-5410-5772	重錘を繰り返し落下させて地盤密度を改良する工法
424	トラック積載土量の計測装置	2500	(株)本間組	土木本部 技術部	025-229-8440	デジタルカメラで撮影された画像を解析し、積載土量を計測するシステム
425	流動化処理工法 (フローデル)	2500	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	発生した残土や汚泥などの建設副産物を流動化処理土として有効利用する際に、この流動化処理土の品質を設計・製造・施工の各段階においてマネジメントする技術

番号	新技術名称	分類	会社名	担当部署	電話	新技術の要旨
426	超高性能コンクリート(SQC)構造物	2500	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	構造物の耐久性を飛躍的に向上させた超高性能コンクリートで、高強度で締め不要な充填性の良いコンクリート・高強度鉄筋などを使用し、必要に応じて鋼繊維補強をし、耐震性能、LCCを向上させている
427	小径コアによる構造体コンクリートの物性評価(ソフトコアリング)	2500	前田建設工業(株)	土木営業一部	03-5276-5117	耐震補強やリニューアル工事の事前調査で既存構造物のコンクリート強度をコアリングピースで評価する際、コア径を従来の10cmにかえて径2.5cmのピースで推定する手法で、簡便でかつ構造物の損傷を軽微にとどめ、補修も容易となる
428	セメント系高強度・高じん性複合材料(HSDC)	2500	(株)ピーエス三菱	技術本部 技術推進部	03-4562-3070	セメント、細骨材及びスチールファイバーなどから成り、粗骨材を使用しない複合材料。